

被災三県の住宅復興に関する実態把握調査（第9回調査）  
～木造住宅生産体制に関するアンケート～  
【 調 査 結 果 】

令和2年1月

岩手県地域型復興住宅推進協議会  
宮城県地域型復興住宅推進協議会  
福島県地域型復興住宅推進協議会



被災三県の住宅復興に関する実態把握調査（第9回調査）  
～木造住宅生産体制に関するアンケート～  
【調査結果】

目次

1. 調査の概要	1
2. 集計結果	3
(1) 回答者の属性	3
1) 現在の主な業務内容	3
2) 現在（震災後）の事業エリア	4
(2) 受注の状況（元請けの木造住宅新築工事（建替え含む））	6
1) 現在の主な施主（発注者）	6
2) 現在の主な建設地	9
(3) 実施体制（元請の木造住宅新築工事（建替え含む））	10
1) 現在（震災後）の契約～着工までの期間及び着工～完成・引渡までの期間	10
2) 受注対応力（余裕の有無）	13
3) 他の市町村・県から、大工・職人等の応援は呼んでいるか	14
4) 大工・職人等の宿泊施設は足りているか（宿泊施設の余裕の有無）	15
5) 人材不足が発生している工事段階	16
6) 不足している建材・資材等	19
7) グループ内の工務店等での建材・資材の共同購入・仕入れ等の予定・意向	21
8) 現在、何ヶ月先までの新築工事契約が決まっているか	22
9) 現在、懸念していること	23
(4) 現在（震災後）の工事単価（請負金額）（元請の木造住宅新築工事（建替え含む））	25
(5) 地域材（自県産材）の活用の問題点	26
(6) マッチングサポート制度活用の意向（岩手県、宮城県のみ）	28
(7) 復興が進む中での地域住宅生産者グループに期待する取組み	29
(8) 住宅復興ならびに復興後を見据えての問題点や課題、必要な支援等について	30

### 3. 全9回調査結果を踏まえた考察..... 31

(1) 受注対応力(余裕の有無).....	32
(2) 他の市町村・県からの大工・職人等の応援状況.....	33
(3) 大工・職人等の宿泊施設の状況.....	34
(4) 工事種別人材の状況.....	35
(5) 建材・資材等の状況.....	39
(6) 契約～完成・引渡までの平均期間.....	43
(7) 平均工事単価(請負金額)の状況.....	44
(8) 地域材の活用.....	45
(9) マッチンサポート制度の活用.....	45
(10) 今後の地域住宅生産者グループの活動に向けて.....	46

<参考> 被災三県の住宅復興に関する実態把握調査【第9回】 調査票..... 47

# 1. 調査の概要

---

被災三県の地域型復興住宅推進協議会は、地域ごとの問題特性を丁寧に把握していくため、これまで8回（平成25年2～3月および10月、平成26年7～8月、平成27年7～8月、平成27年12月～平成28年1月、平成28年9月～10月、平成29年11月～12月、平成30年11月～12月）にわたり、三県合同で住宅復興に関する実態把握調査（アンケート調査）を行ってきた。

本調査結果は、報告書としてとりまとめ、各地域住宅生産者グループのほか、ひろく行政やマスコミ等へも情報提供を行ってきた。各方面からの問合せ・反響等があり、被災地の住宅復興の状況を知り得る価値あるデータであるという認識を持つことができた。

本調査は、ほぼ同じ設問のもとで実態を定点把握していくために毎年度実施してきており、このたび、第9回調査を実施するに至った。ここで得られた調査結果は、定量的な分析を行い、地域住宅生産者グループでの情報共有と、住宅復興の問題解決のための基礎資料とする。また、必要に応じて、国や地方公共団体等への情報提供を行うものとする。

## （1）調査実施主体

- ・岩手県・宮城県・福島県の地域型復興住宅推進協議会が合同で実施

## （2）調査対象

- ・地域住宅生産者グループに所属する施工事業者1社（岩手128、宮城76、福島88 計292社）
  - ⇒ グループ代表者が施工事業者の場合は、当該施工事業者
  - ⇒ グループ代表者が施工事業者以外の場合は、グループ内の主たる施工事業者1社

## （3）調査の実施方法

- ・メール配布・回収によるアンケート調査
- ・配布・回収は、各県の地域型復興住宅推進協議会が実施。
  - ※ メールが困難な場合はFAXによる配布・回収。

## （4）調査実施期間

- ・回答期間（調査実施）：令和元年11月中旬～令和元年11月下旬
- ・集計・分析：令和元年12月中旬～令和2年1月中旬

## (5) 調査内容

- 調査票はA4で2頁構成とし、設問内容は以下のとおりである。

回答者の属性	グループ名称／会社所在地／ 現在の主な業務内容(新築、修理・改修等の状況)／現在(震災後)の事業エリア
受注状況	主な施主(発注者)／主な建設地
実施体制	契約～着工までの期間／着工～完成・引渡までの期間／受注対応力／ 他の市町村・県からの大工・職人等の応援の状況／ 大工・職人等の宿泊施設の充足状況／ 人材不足の状況がみられる工事段階／不足している建材・資材等／ グループ内工務店における建材・資材の共同購入等の予定・意向／ 何ヶ月先まで新築工事契約が決まっているか／現在懸念していること
コストの状況	現在(震災後)の工事単価
地域材の活用	地域材(自県産材)活用の問題点
マッチングサポート制度の活用	職人融通支援・資材確保支援活用の意向 ※今回は、岩手会、宮城会のみ調査実施
グループに期待する取組み	復興が進む中でのグループに期待する取組みについて(自由回答)
問題点や課題(自由回答欄)	復興後を見据えての問題点、課題、必要な支援等(自由回答)

## (6) 配布・回収の結果

	配布数	回収数	回収数			回収率
			沿岸市町村	内陸市町村	他・不明	
岩手県	128社	85社 (100.0%)	30社 (35.3%)	55社 (64.7%)	0社 (0.0%)	66.4%
宮城県	76社	20社 (100.0%)	16社 (80.0%)	4社 (20.0%)	0社 (0.0%)	26.3%
福島県	88社	26社 (100.0%)	8社 (30.8%)	18社 (69.2%)	0社 (0.0%)	29.5%
計	292社	131社 (100.0%)	54社 (41.2%)	77社 (58.8%)	0社 (0.0%)	44.9%

※ 沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）。  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答。

## (7) 集計方針

- グループ名称、所在地、自由記入欄を除く、全ての調査項目について単純集計及び県別集計を行うほか、回答者の所在市町村の属性別（沿岸市町村・内陸市町村）集計を行う。
- 「契約～着工までの期間」、「着工～完成・引渡までの期間」、「何ヶ月先まで新築工事契約が決まっているか」、「工事単価」については、それぞれレンジで表示するとともに、平均値を算出。

## 2. 集計結果

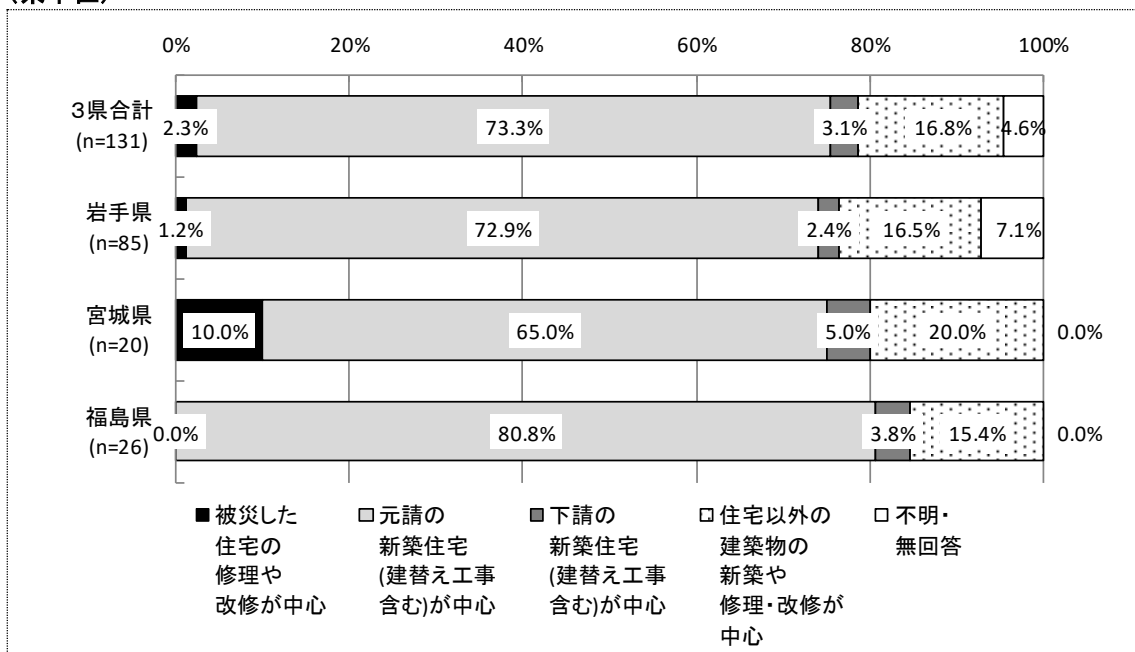
### (1) 回答者の属性

#### 1) 現在の主な業務内容

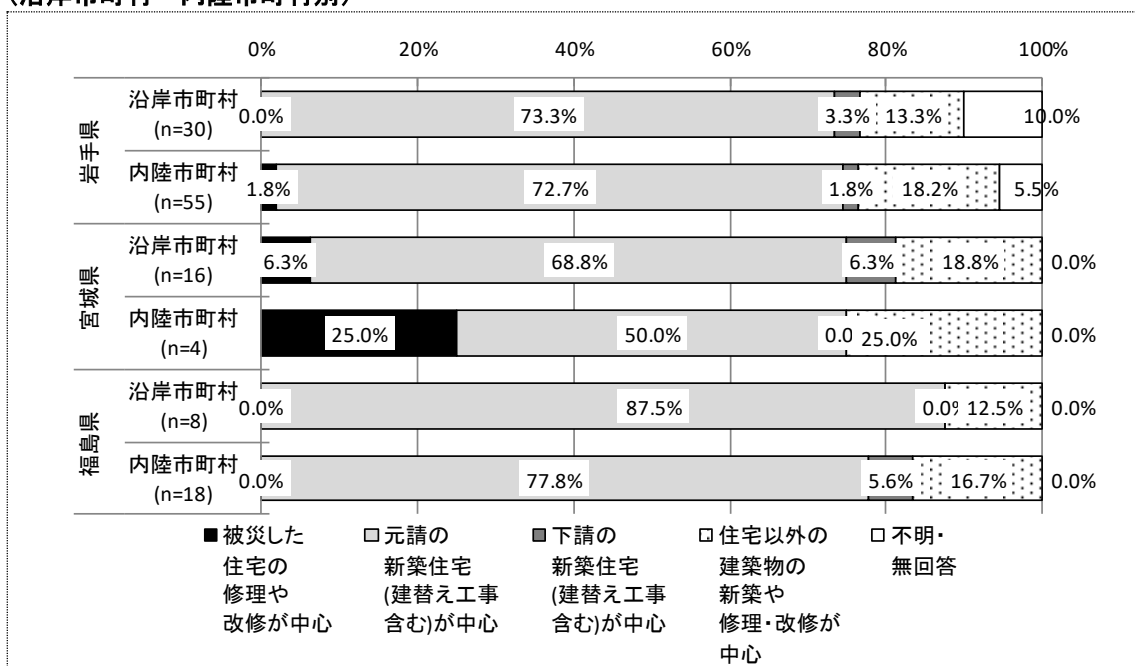
・ 3県合計で 73.3%の施工事業者が「元請・新築」を主な業務としている。

〈参考〉 第 8 回調査では上記回答が 3 県平均で 79.0%であり、今回「元請・新築」を主な業務としている施工業者の割合が 5.7 ポイント下落。

#### (県単位)



#### (沿岸市町村・内陸市町村別)



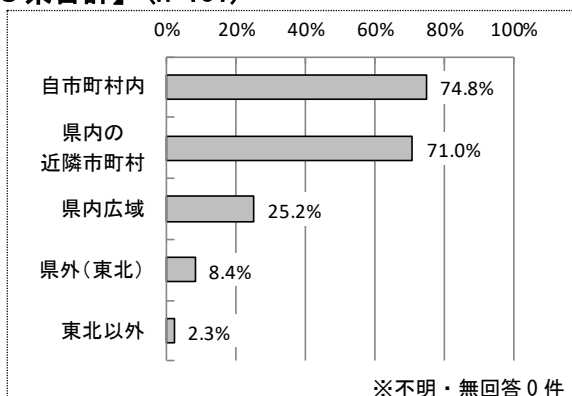
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 2) 現在（震災後）の事業エリア（複数回答）

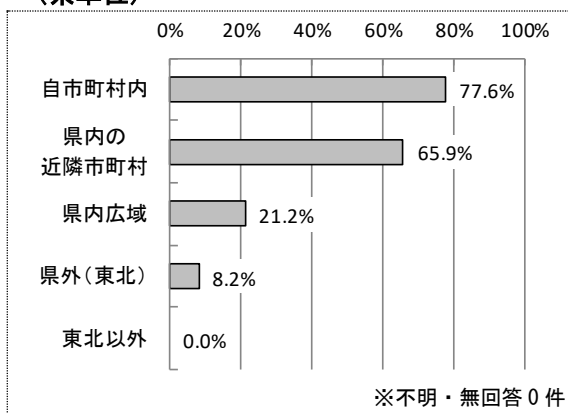
- 3県合計では「自市町村内」が74.8%、次いで「県内の近隣市町村」が71.0%。  
 <参考> 第8回調査では「県内の近隣市町村」が75.5%、「自市町村内」が67.1%、「県内広域」が33.6%。
- 福島県では、「東北以外」が11.5%となっており、他の2県に比べて高い割合となっており、東北以外の他県への事業展開の傾向がみられる。

### 【3県合計】(n=131)

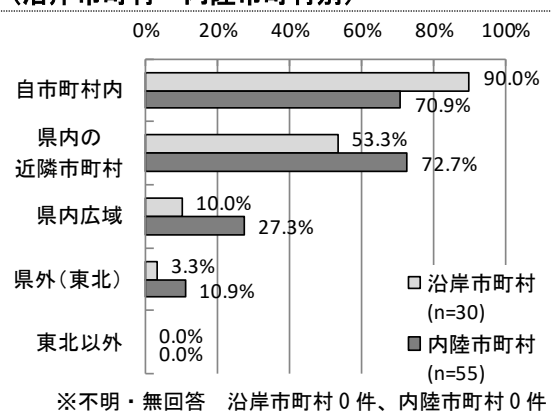


### 【岩手県】(n=85)

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

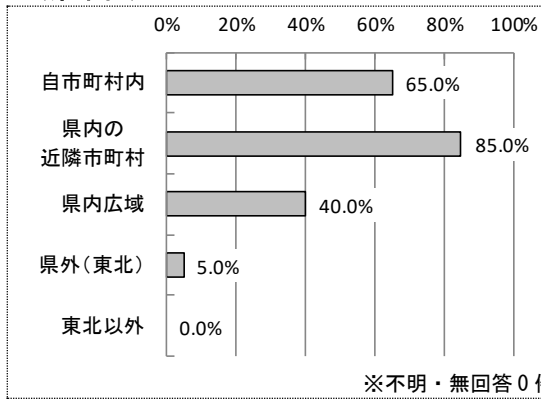


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

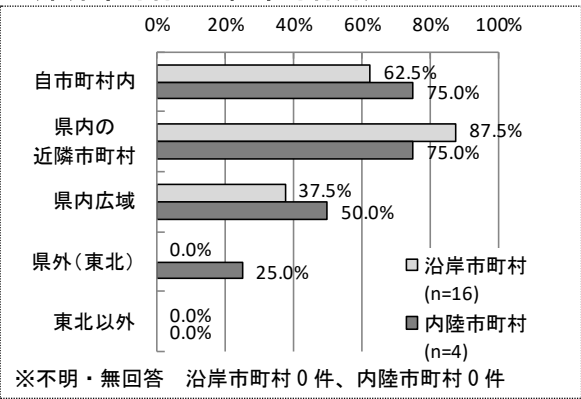


【宮城県】 (n=20)

(県単位)

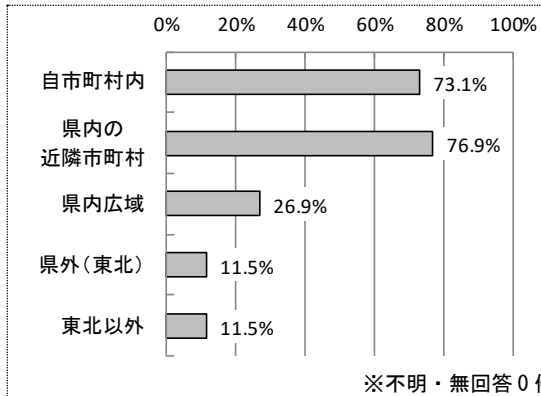


(沿岸市町村・内陸市町村別)

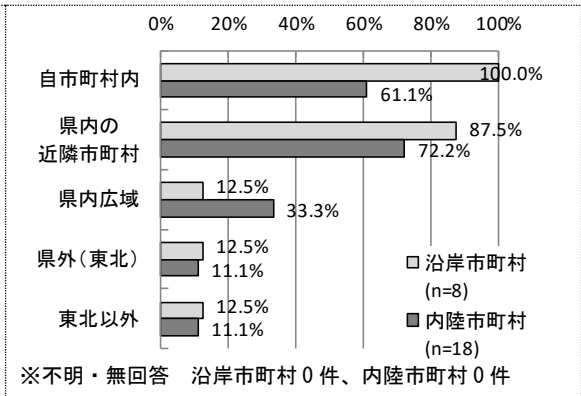


【福島県】 (n=26)

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



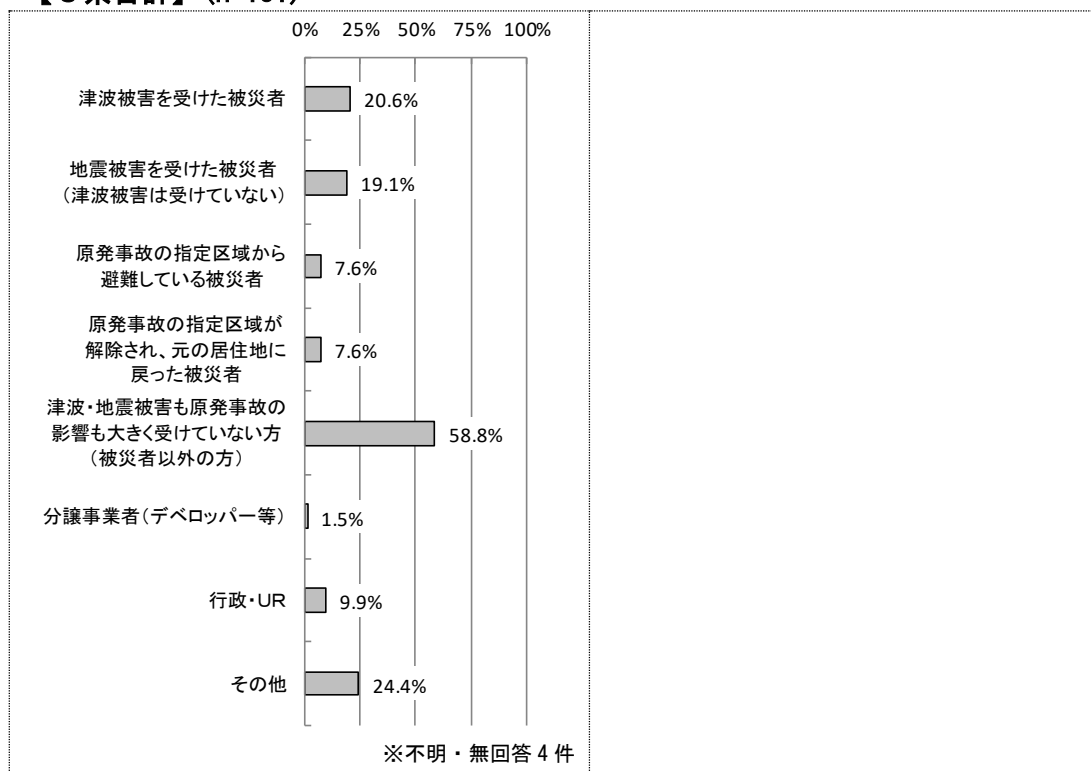
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## (2) 受注の状況（元請けの木造住宅新築工事（建替え含む））

### 1) 現在の主な施主（発注者）（複数回答）

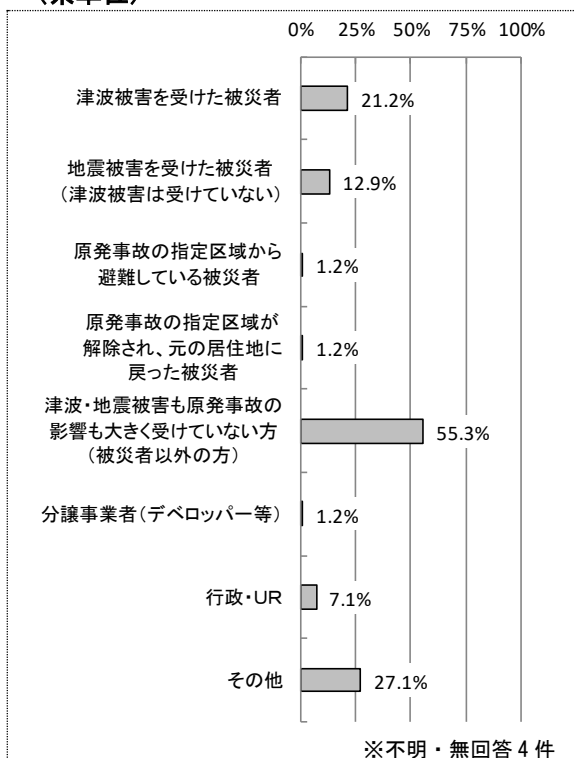
- 3県合計では「津波・地震被害も原発事故の影響も大きく受けていない方（被災者以外の方）」が58.8%と最も高い。
- 岩手県及び福島県の内陸市町村は、沿岸市町村より「被災者以外の方」の割合が高い。一方、宮城県では、沿岸市町村の方が「被災者以外の方」の割合が高い。
- 岩手県の沿岸市町村では「津波被害を受けた被災者」の割合が43.8%、宮城県の沿岸市町村では33.3%、福島県の沿岸市町村では25.0%となっている。
- 福島県の沿岸市町村では「原発事故の指定区域から避難している被災者」の割合が50.0%となっている。

#### 【3県合計】（n=131）

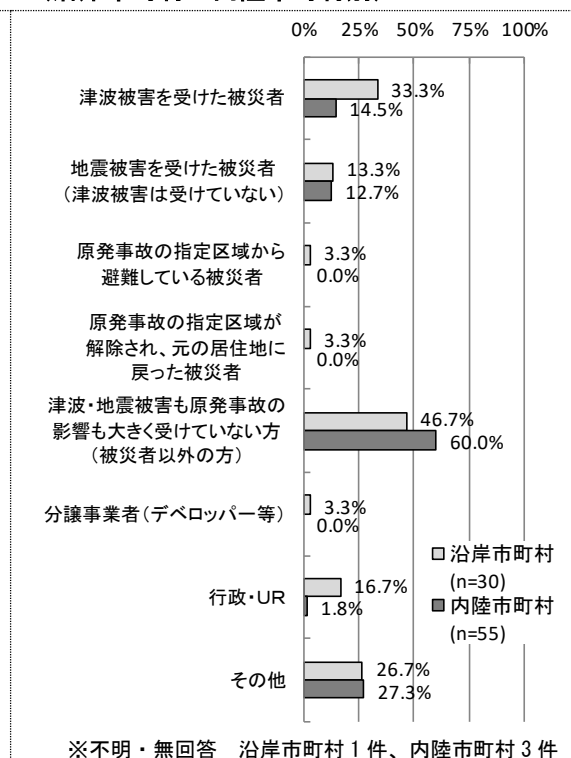


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

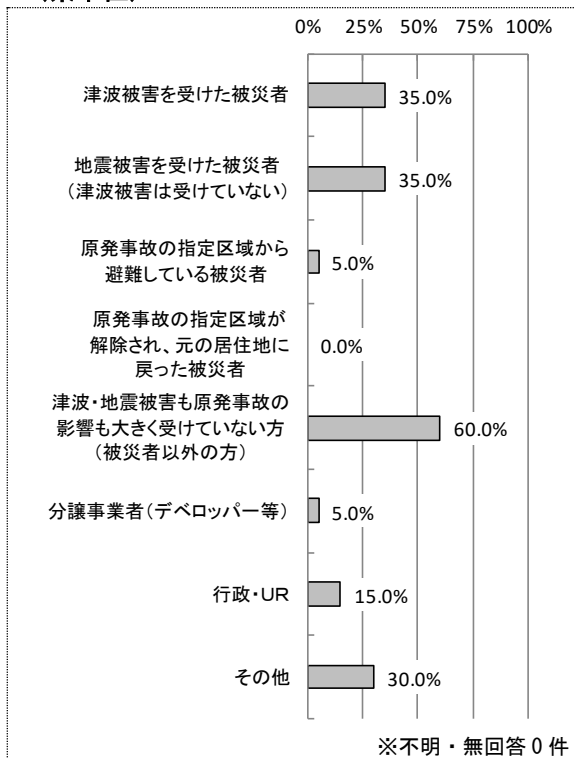
**【岩手県】 (n=85)**  
(県単位)



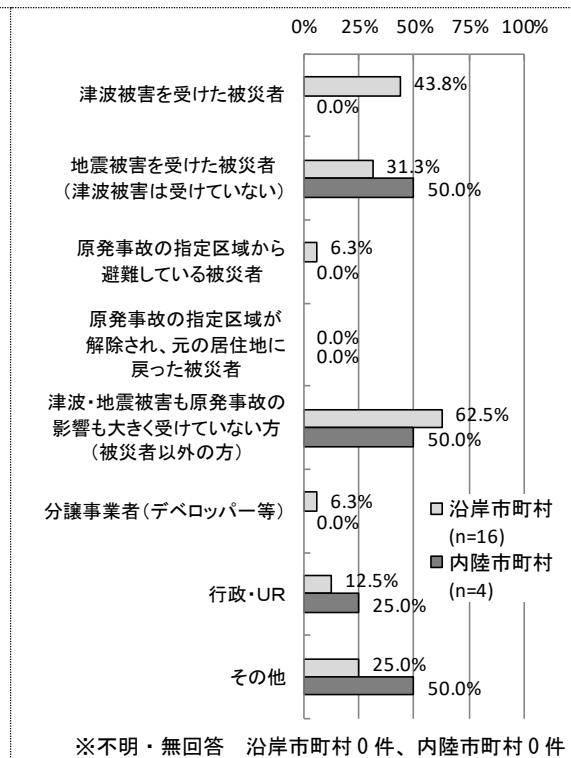
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【宮城県】 (n=20)**  
(県単位)

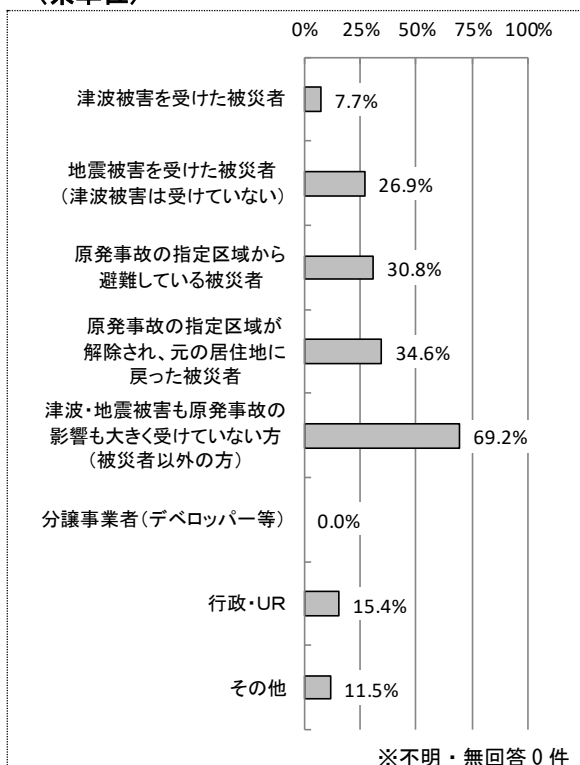


(沿岸市町村・内陸市町村別)

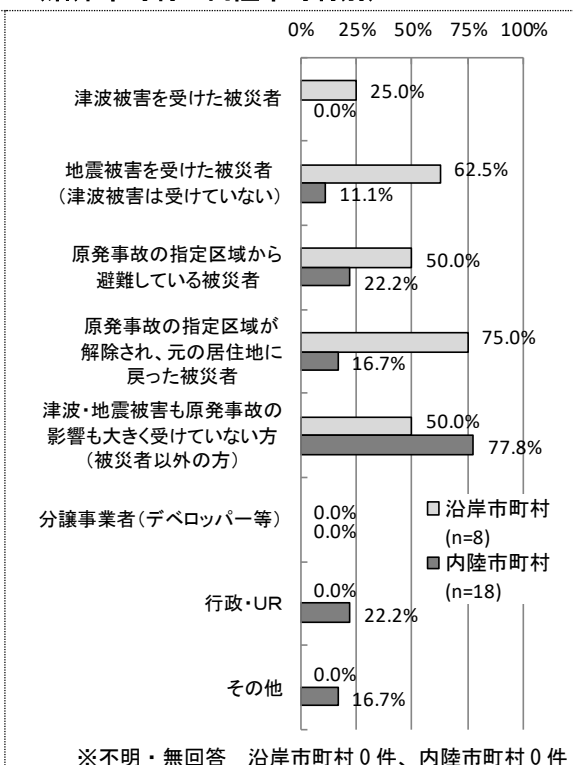


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

**【福島県】 (n=26)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

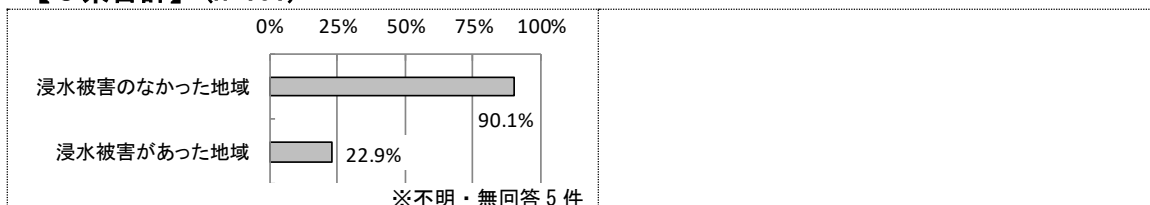


**沿岸市町村**：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
**内陸市町村**：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

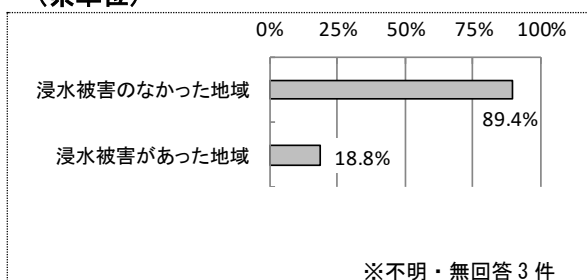
## 2) 現在の主な建設地（複数回答）

- ・ 3県とも「浸水被害のなかった地域」での建設が中心。「浸水被害があった地域」で建設を行っている施工事業者は22.9%に留まっている。

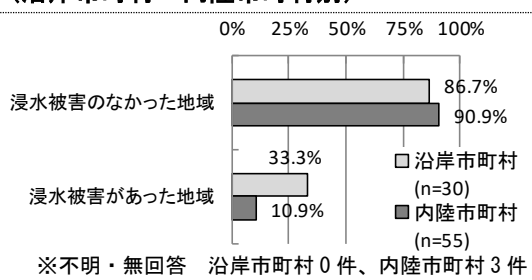
### 【3県合計】(n=131)



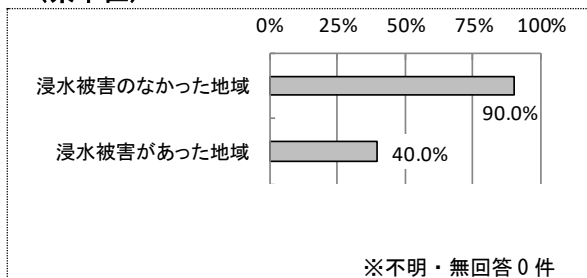
### 【岩手県】(n=85) (県単位)



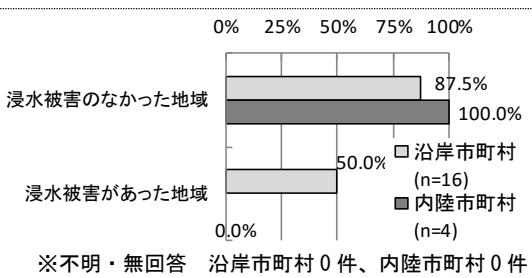
### (沿岸市町村・内陸市町村別)



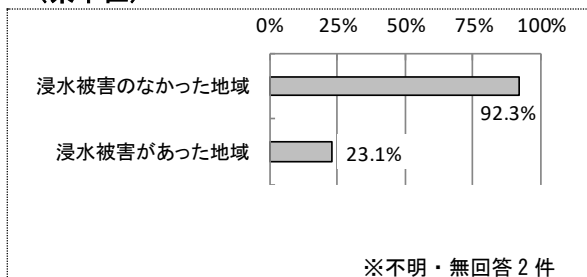
### 【宮城県】(n=20) (県単位)



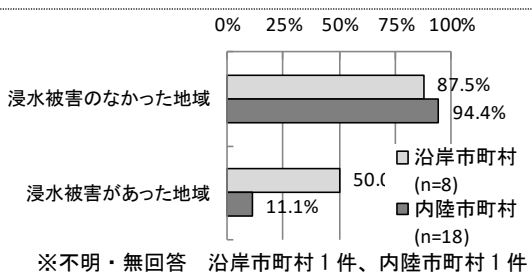
### (沿岸市町村・内陸市町村別)



### 【福島県】(n=26) (県単位)



### (沿岸市町村・内陸市町村別)



沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

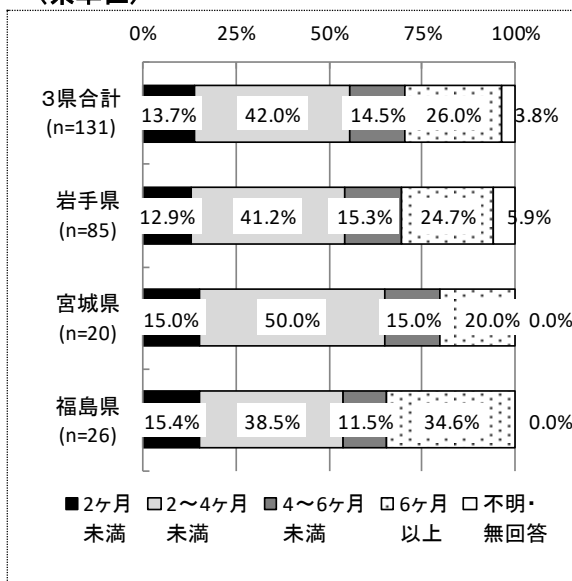
### (3) 実施体制（元請の木造住宅新築工事(建替え含む)）

#### 1) 現在（震災後）の契約～着工までの期間及び着工～完成・引渡までの期間

##### ①契約～着工までの期間

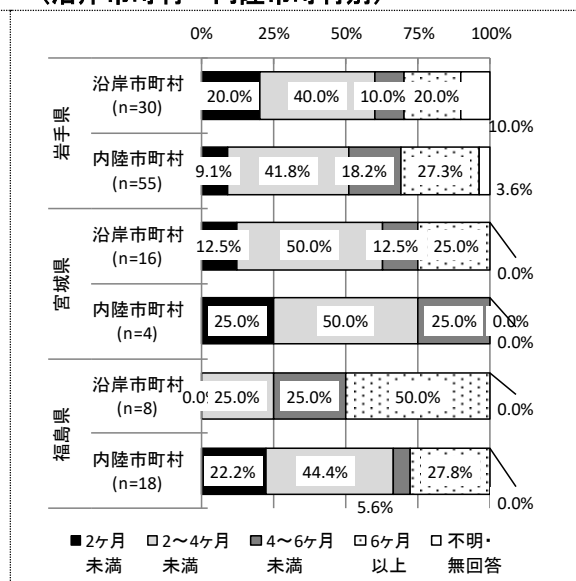
- ・ 3県平均で 3.9 ヶ月、岩手県 3.7 ヶ月、宮城県 3.8 ヶ月、福島県 4.5 ヶ月である。  
 〈参考〉 第 8 回調査では上記回答が 3 県平均で 3.6 ヶ月、岩手県 3.6 ヶ月、宮城県 3.5 ヶ月、福島県 3.8 ヶ月。今回、3 県いずれも延長傾向。
- ・ 福島県の沿岸市町村は、内陸市町村より平均期間が長く、とくに福島県の沿岸市町村では「6 ヶ月以上」が 50.0% を占め、平均 6.5 ヶ月となっている。

(県単位)



3県平均 : 3.9 ヶ月 / 岩手県平均 : 3.7 ヶ月  
 宮城県平均 : 3.8 ヶ月 / 福島県平均 : 4.5 ヶ月

(沿岸市町村・内陸市町村別)



岩手県 沿岸市町村平均 : 3.3 ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 3.9 ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 4.2 ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 2.3 ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 6.5 ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 3.6 ヶ月

#### <参考：第 8 回調査>

3県平均 : 3.6 ヶ月 / 岩手県平均 : 3.6 ヶ月  
 宮城県平均 : 3.5 ヶ月 / 福島県平均 : 3.8 ヶ月

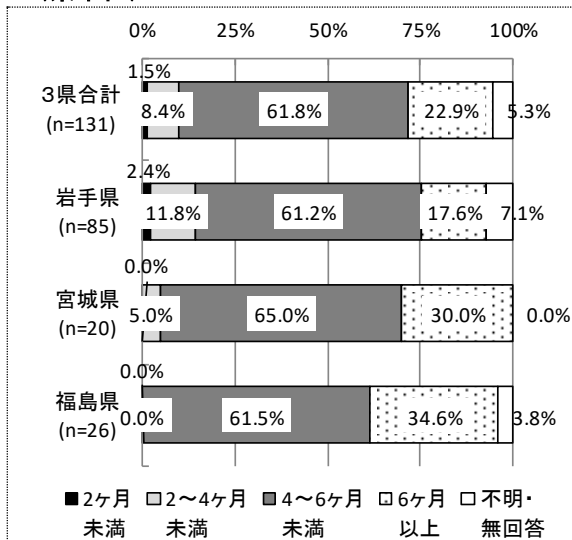
岩手県 沿岸市町村平均 : 3.3 ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 3.7 ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 3.4 ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 3.9 ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 4.1 ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 3.7 ヶ月

沿岸市町村 : 沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
 内陸市町村 : 内陸部に位置する市町村の工務店が回答

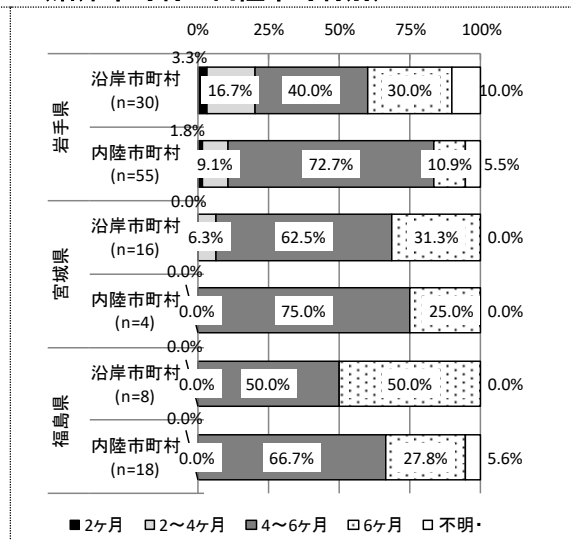
## ②着工～完成・引渡までの期間

- 3県平均で4.9ヶ月、岩手県4.4ヶ月、宮城県6.0ヶ月、福島県5.5ヶ月である。  
 〈参考〉 第8回調査では上記回答が3県平均で4.8ヶ月、岩手県4.7ヶ月、宮城県5.1ヶ月、福島県5.0ヶ月。岩手県では短縮傾向、宮城県・福島県では延長傾向。
- 3県の沿岸市町村は、内陸市町村より平均期間が長く、宮城県の沿岸市町村では6.3ヶ月となっている。

(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



3県平均 : 4.9ヶ月 / 岩手県平均 : 4.4ヶ月  
 宮城県平均 : 6.0ヶ月 / 福島県平均 : 5.5ヶ月

岩手県 沿岸市町村平均 : 4.5ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 4.4ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 6.3ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 4.8ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 5.6ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 5.4ヶ月

## 〈参考：第8回調査〉

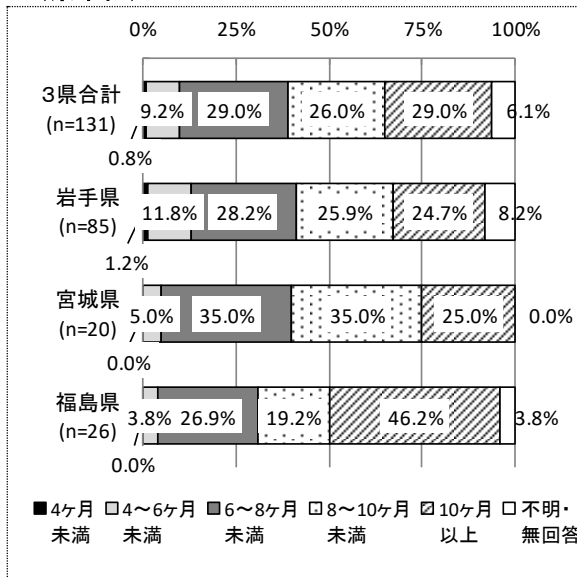
3県平均 : 4.8ヶ月 / 岩手県平均 : 4.7ヶ月  
 宮城県平均 : 5.1ヶ月 / 福島県平均 : 5.0ヶ月

岩手県 沿岸市町村平均 : 4.8ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 4.6ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 5.3ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 4.1ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 5.2ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 4.9ヶ月

### ③契約～着工までの期間と着工～完成・引渡までの期間の合計

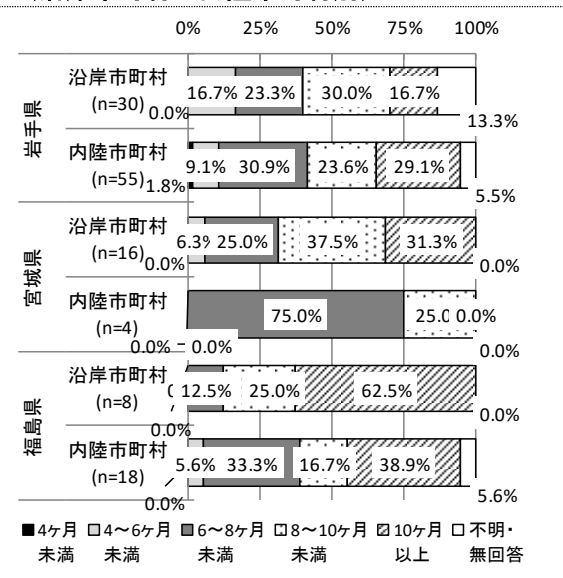
- 3県平均で8.8ヶ月、岩手県8.2ヶ月、宮城県9.8ヶ月、福島県10.1ヶ月である。
- 震災前の3県平均6.1ヶ月に比べると2.7ヶ月の大幅増となっている。
- 〈参考〉 第8回調査では上記回答が3県平均で8.5ヶ月、岩手県8.3ヶ月、宮城県8.5ヶ月、福島県8.8ヶ月。岩手県はほとんど変わらないが、宮城県・福島県では延長傾向。
- 宮城県・福島県の沿岸市町村は、内陸市町村より平均期間が長く、とくに福島県の沿岸市町村では、「10ヶ月以上」が62.5%を占める。

(県単位)



3県平均 : 8.8ヶ月 / 岩手県平均 : 8.2ヶ月  
宮城県平均 : 9.8ヶ月 / 福島県平均 : 10.1ヶ月

(沿岸市町村・内陸市町村別)



岩手県 沿岸市町村平均 : 8.0ヶ月  
岩手県 内陸市町村平均 : 8.3ヶ月  
宮城県 沿岸市町村平均 : 10.4ヶ月  
宮城県 内陸市町村平均 : 7.0ヶ月  
福島県 沿岸市町村平均 : 12.1ヶ月  
福島県 内陸市町村平均 : 9.1ヶ月

### <参考：第8回調査>

3県平均 : 8.5ヶ月 / 岩手県平均 : 8.3ヶ月  
宮城県平均 : 8.5ヶ月 / 福島県平均 : 8.8ヶ月

岩手県 沿岸市町村平均 : 8.1ヶ月  
岩手県 内陸市町村平均 : 8.3ヶ月  
宮城県 沿岸市町村平均 : 8.7ヶ月  
宮城県 内陸市町村平均 : 8.0ヶ月  
福島県 沿岸市町村平均 : 9.3ヶ月  
福島県 内陸市町村平均 : 8.6ヶ月

沿岸市町村 : 沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
内陸市町村 : 内陸部に位置する市町村の工務店が回答

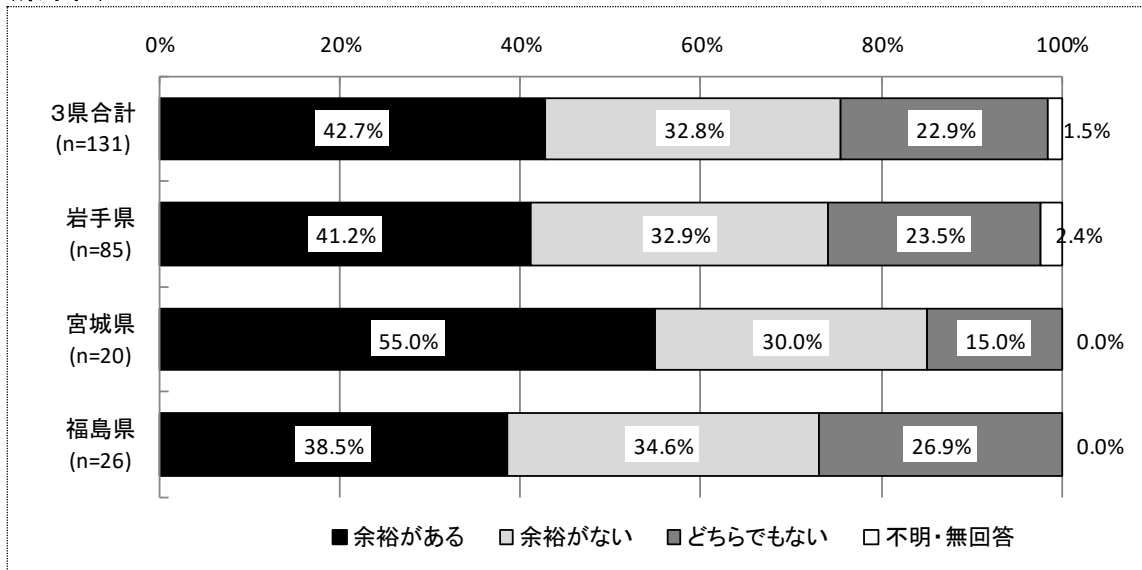


## 2) 受注対応力（余裕の有無）

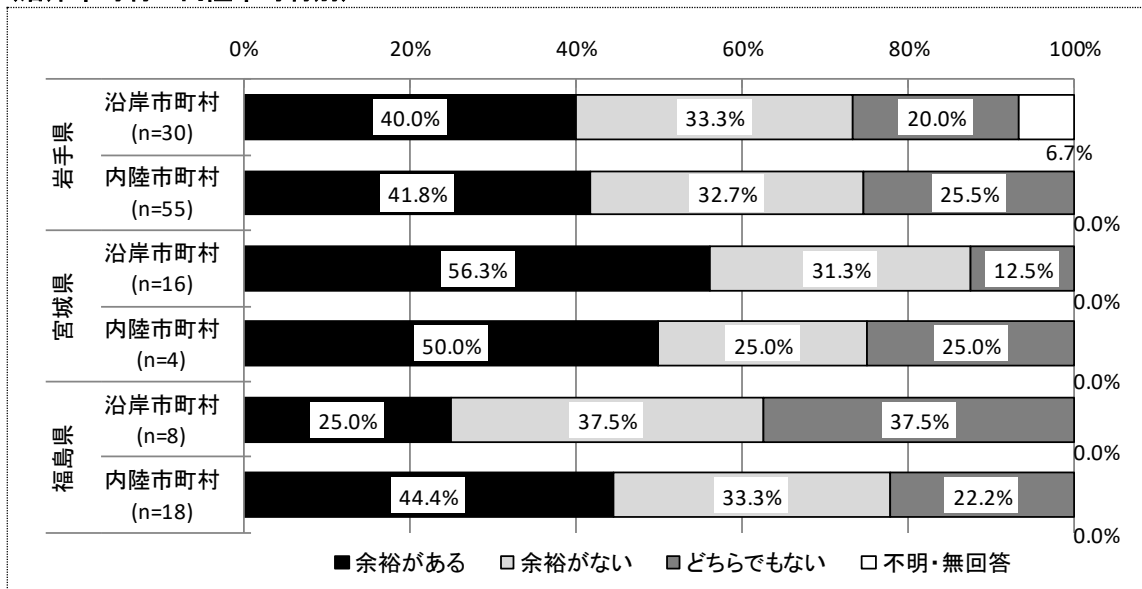
- 受注対応力に関する全般的な傾向として、3県合計で受注対応力に「余裕がある」が42.7%であり、特に宮城県では55.0%と高い。
- 一方で、3県合計で受注対応力に「余裕がない」が32.8%であり、余裕がない状況は続いている傾向にある。

〈参考〉 第8回調査では「余裕がある」の割合は3県合計で53.8%（今回 11.1ポイント下落）、「余裕がない」の割合は3県合計で23.1%であった。

### （県単位）



### （沿岸市町村・内陸市町村別）

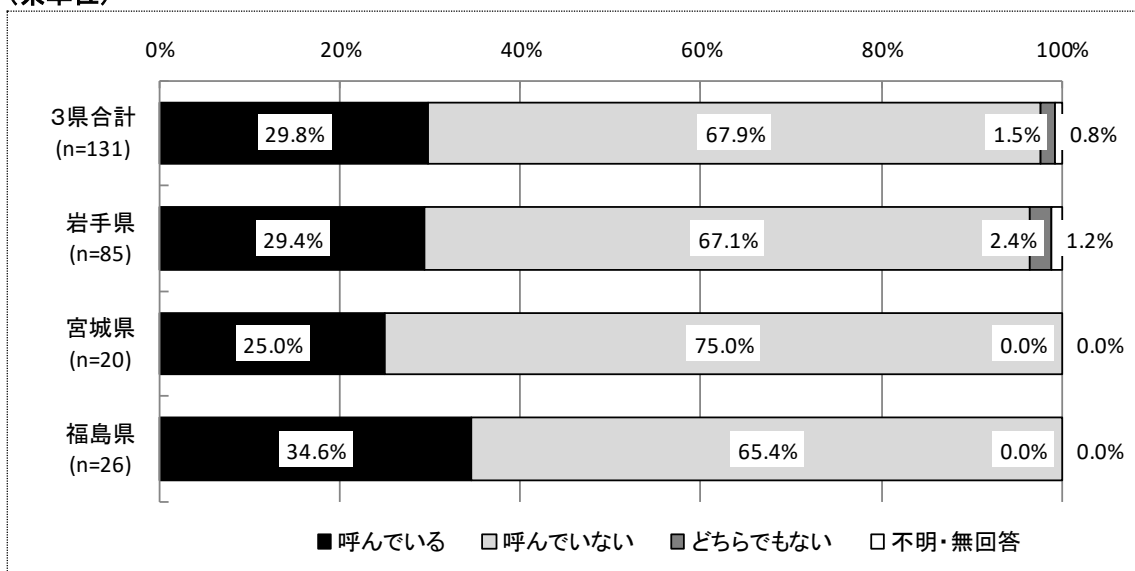


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

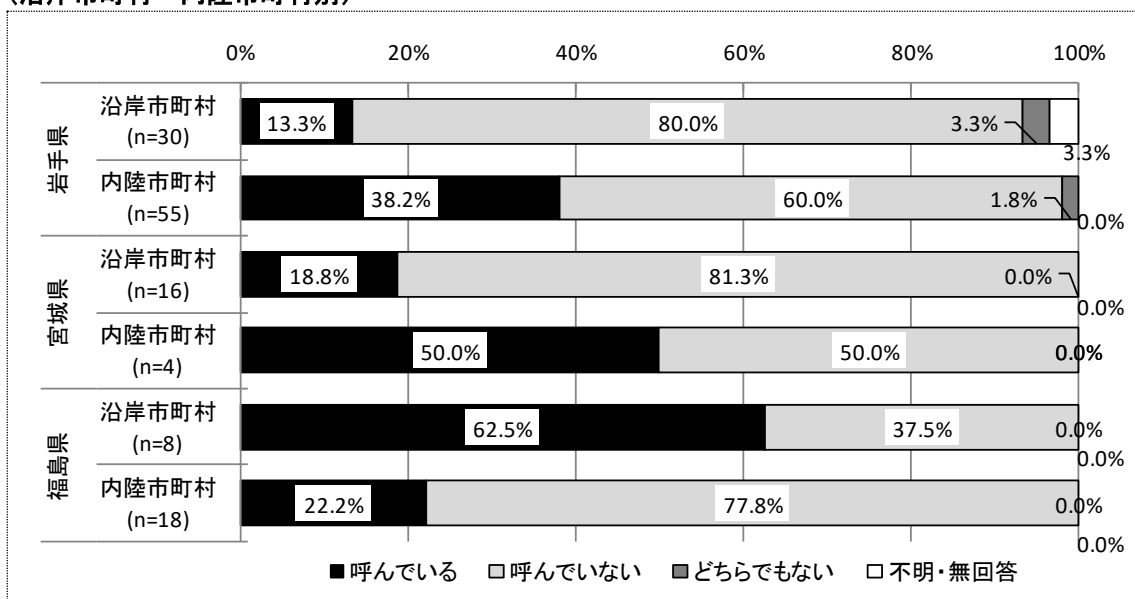
### 3) 他の市町村・県から、大工・職人等の応援は呼んでいるか

- ・ 3県合計で「応援を呼んでいる」施工事業者は 29.8%。約7割は応援を呼んでいない。
- 〈参考〉 第8回調査では「応援を呼んでいる」施工事業者は3県合計で 25.2%。今回 4.6 ポイント上昇。県別にみると、岩手県 29.5%、宮城県 9.7%、福島県 29.4%であった。今回、宮城県及び福島県が上昇。
- ・ 宮城県の内陸市町村では「応援を呼んでいる」が 13.3%であり、第8回調査より割合が大幅に下落している。
- 〈参考〉 第8回調査では「応援を呼んでいる」割合が、岩手県の沿岸市町村で 29.2%、内陸市町村で 29.6%、宮城県の沿岸市町村で 8.3%、内陸市町村で 14.3%、福島県の沿岸市町村で 36.4%、内陸市町村で 30.0%であった。

#### (県単位)



#### (沿岸市町村・内陸市町村別)



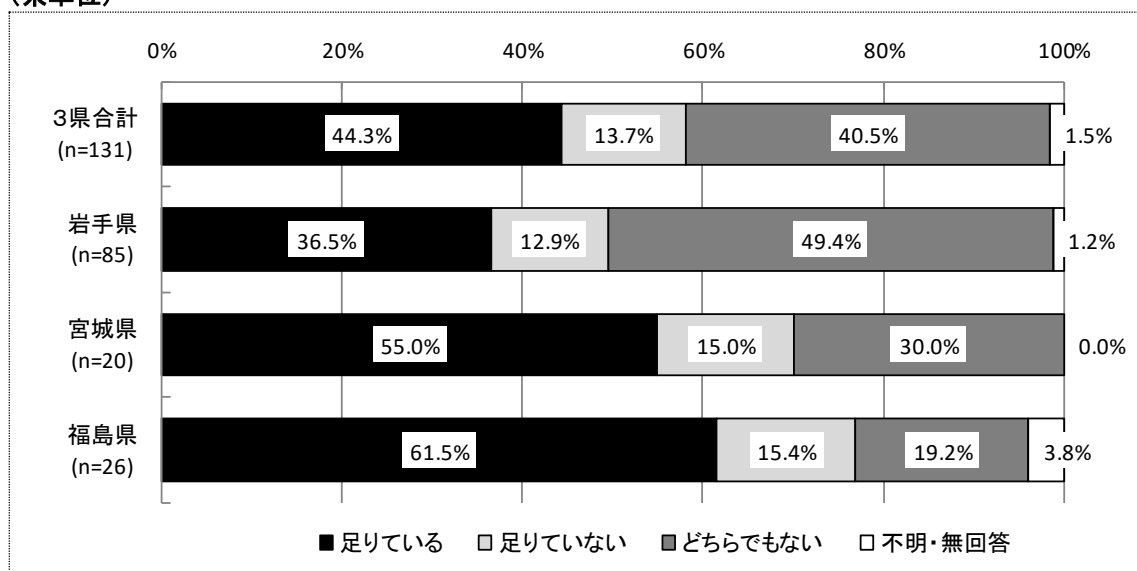
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

#### 4) 大工・職人等の宿泊施設は足りているか（宿泊施設の余裕の有無）

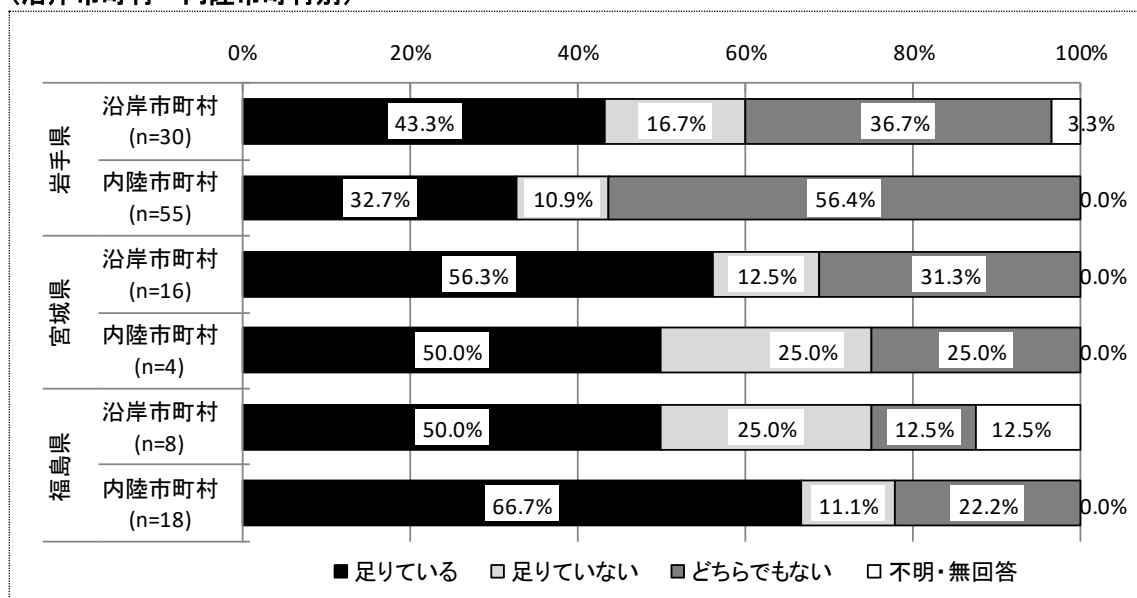
・3県合計で「足りている」が44.3%、「足りていない」が13.7%、「どちらでもない」が40.5%。

〈参考〉第8回調査では「足りている」という回答が、3県合計で37.8%。今回6.5ポイント上昇。県別にみると、岩手県34.6%、宮城県35.5%、福島県47.1%であった。今回、3県いずれも上昇。

##### （県単位）



##### （沿岸市町村・内陸市町村別）



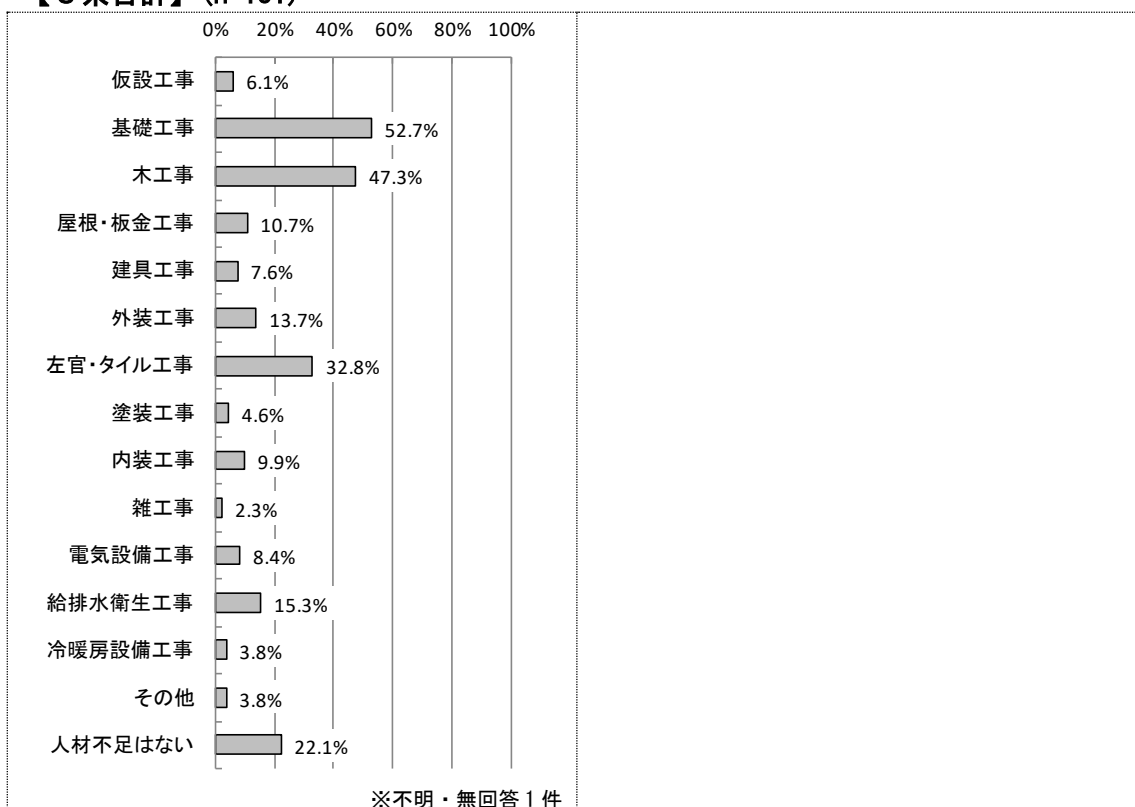
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 5) 人材不足が発生している工事段階（複数回答）

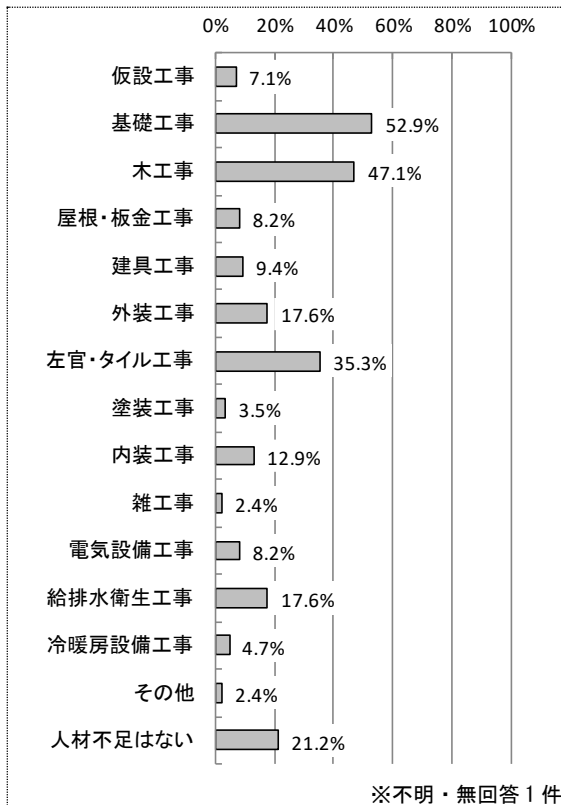
- 3県合計で「人材不足はない」が22.1%となっているが、未だ、ほとんどの施工業者になんらかの人材不足が発生している状況。
  - 工事段階別では、「基礎工事」、「木工事」の半数以上で人材不足が発生している。
- 〈参考〉 第8回調査では「人材不足はない」が3県合計で18.2%。今回3.9ポイント上昇。人材不足はまだ続いている傾向にある。工事段階別は今回調査同様、「基礎工事」「木工事」の割合が特に高く、次いで「左官・タイル工事」、「外装工事」、「給排水衛生工事」が続く。

### 【3県合計】(n=131)

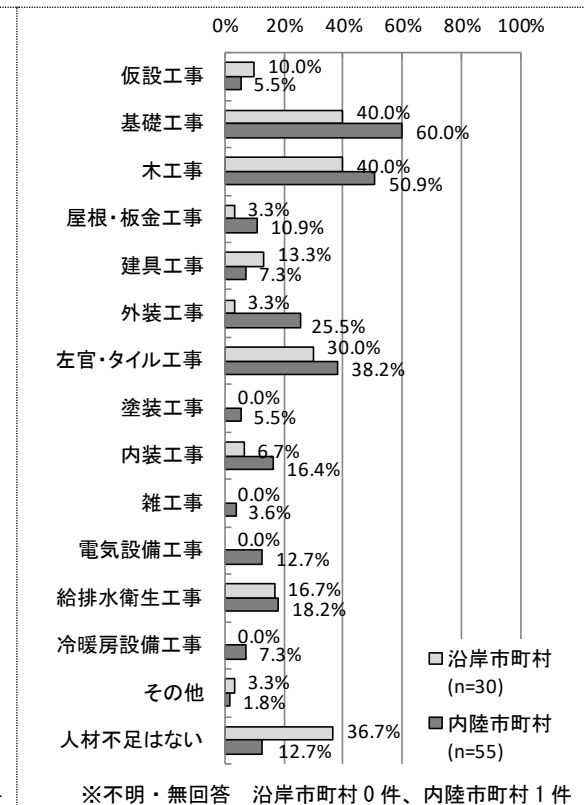


※いずれかの工事段階で「人材不足あり」と回答し、かつ、「人材不足はない」にも回答している場合は、「人材不足あり」を優先した。（「人材不足はない」は無効と判断）

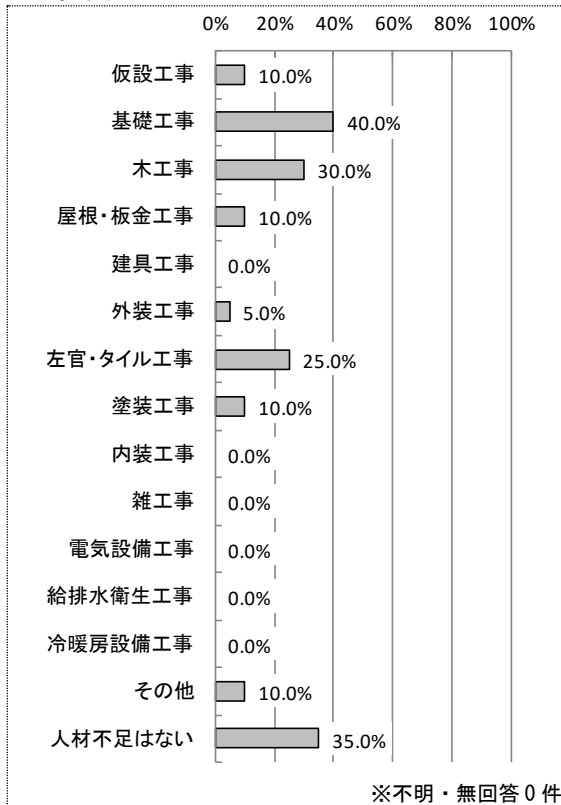
【岩手県】(n=85)  
(県単位)



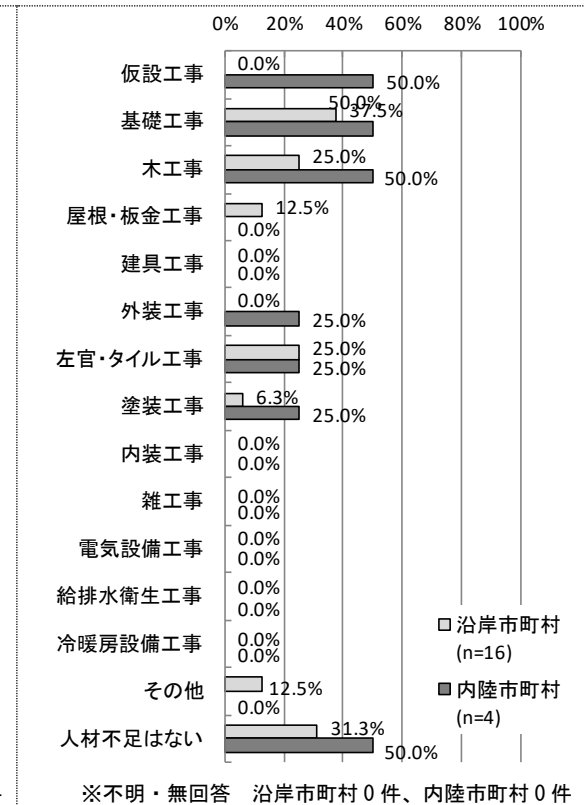
(沿岸市町村・内陸市町村別)



【宮城県】(n=20)  
(県単位)



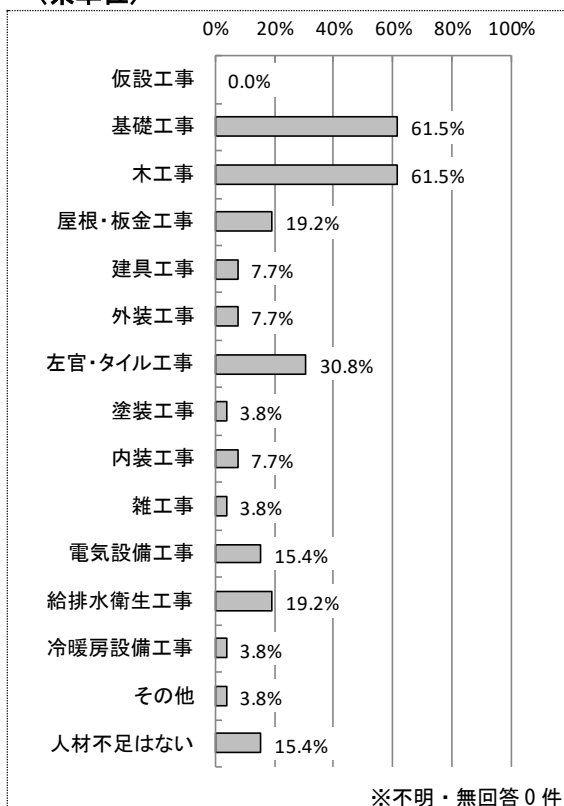
(沿岸市町村・内陸市町村別)



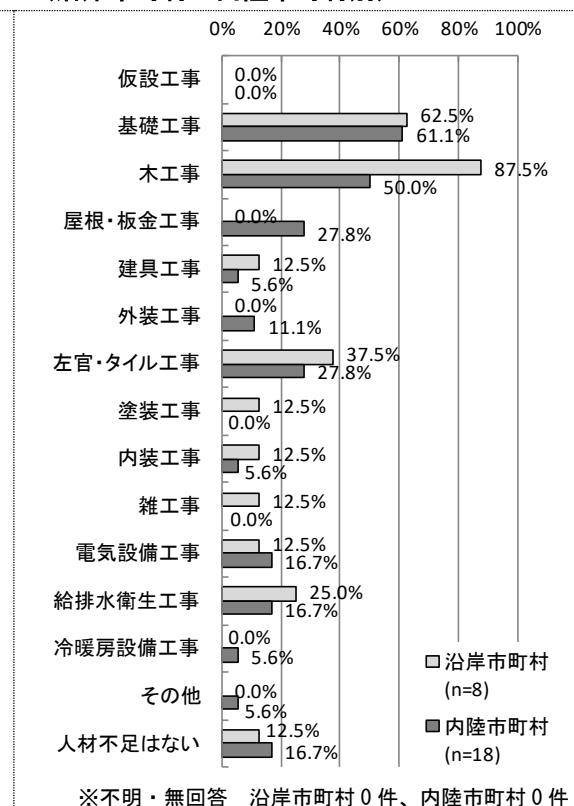
※いずれかの工事段階で「人材不足あり」と回答し、かつ、「人材不足はない」にも回答している場合は、「人材不足あり」を優先した。(「人材不足はない」は無効と判断)

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

【福島県】(n=26)  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



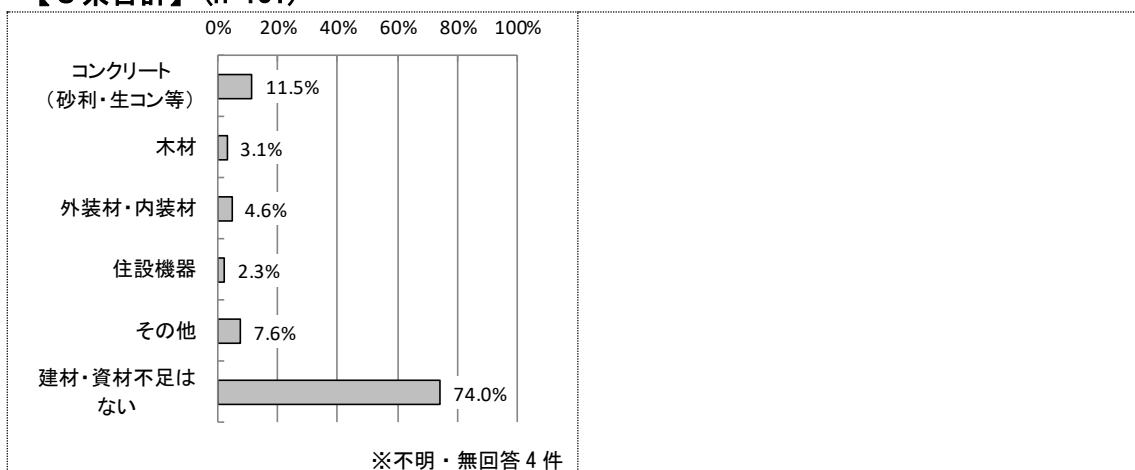
※いずれかの工事段階で「人材不足あり」と回答し、かつ、「人材不足はない」にも回答している場合は、「人材不足あり」を優先した。(「人材不足はない」は無効と判断)

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

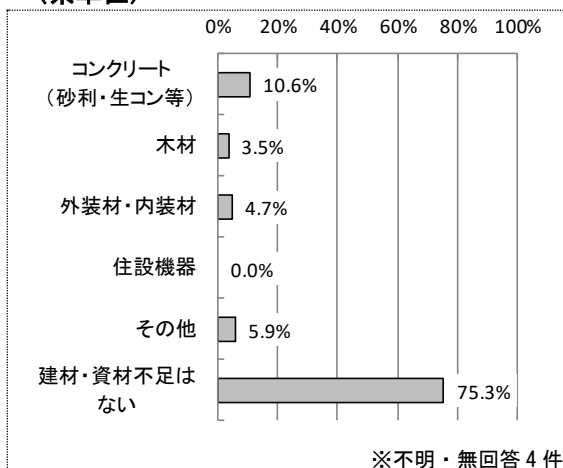
## 6) 不足している建材・資材等（複数回答）

- 3県合計で「建材・資材不足はない」が74.0%。  
 〈参考〉 第8回調査では「建材・資材不足はない」は3県合計で68.5%。今回5.5ポイント上昇。
- 建材・資材の種別では、3県合計で「コンクリート」不足の割合が最も高く11.5%。  
 〈参考〉 第8回調査では「コンクリート」不足が17.5%、「木材」不足が2.1%、「外装材・内装材」不足が4.2%であった。今回、「木材」の割合が高くなっている。
- 岩手県・福島県の沿岸市町村は、内陸市町村より「建材・資材不足はない」の割合が高く、内陸市町村の方が建材・資材不足の傾向が強いが、宮城県は沿岸市町村の方が建材・資材不足の傾向が強い。

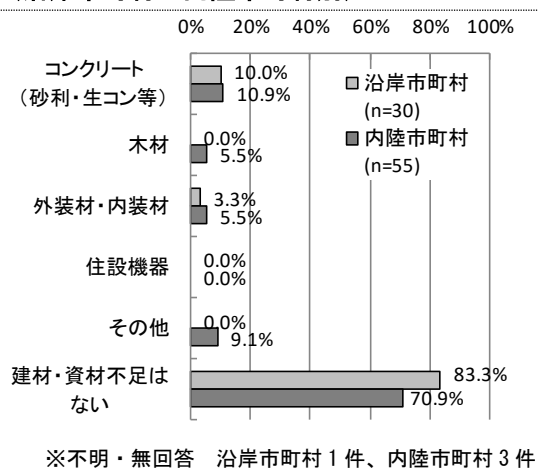
### 【3県合計】(n=131)



### 【岩手県】(n=85) (県単位)

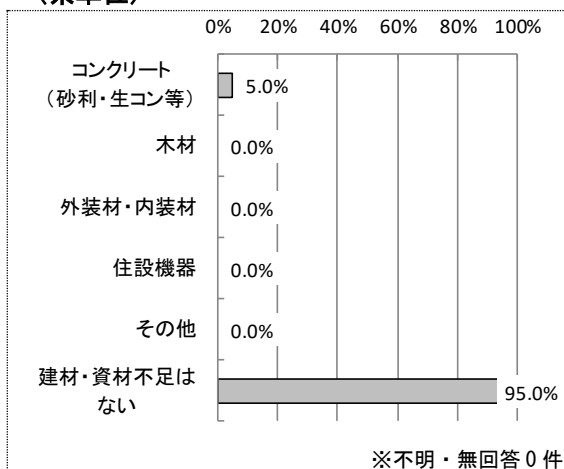


### (沿岸市町村・内陸市町村別)

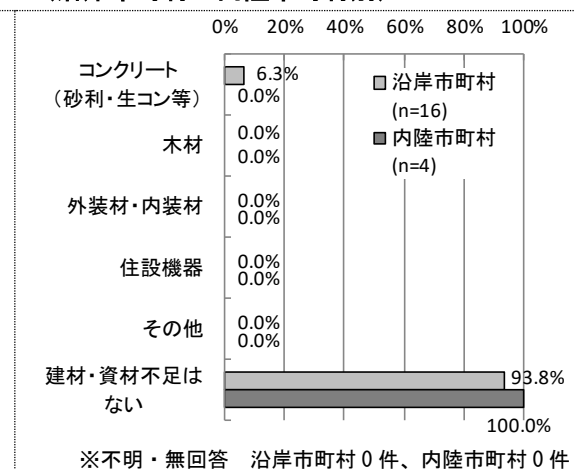


※いずれかの建材・資材種別で「不足」と回答し、かつ、「建材・資材不足はない」にも回答している場合は、「不足」を優先した。（「建材・資材不足はない」は無効と判断）

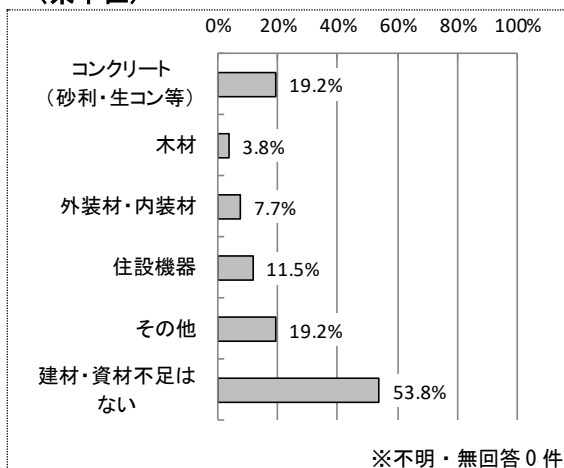
**【宮城県】 (n=20)**  
(県単位)



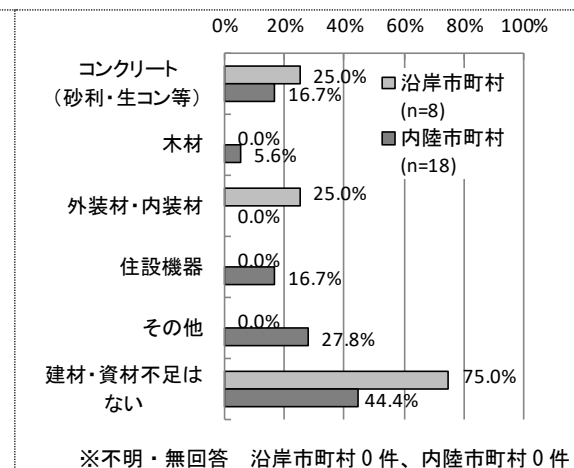
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【福島県】 (n=26)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



※いずれかの建材・資材種別で「不足」と回答し、かつ、「建材・資材不足はない」にも回答している場合は、「不足」を優先した。（「建材・資材不足はない」は無効と判断）

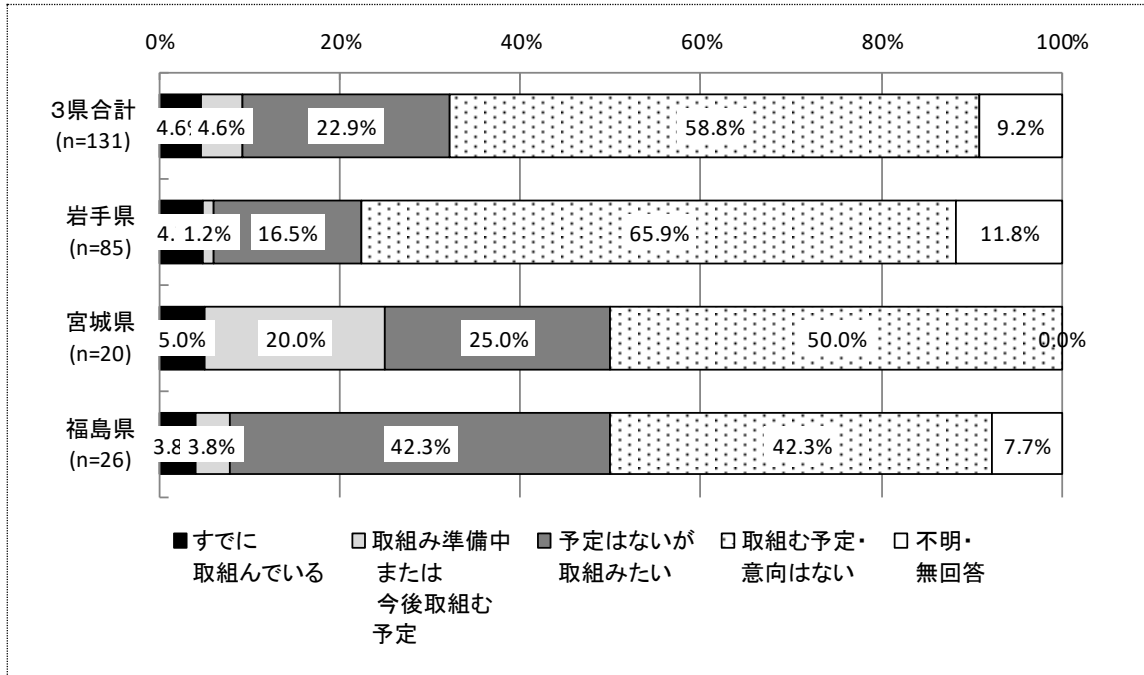


## 7) グループ内の工務店等での建材・資材の共同購入・仕入れ等の予定・意向

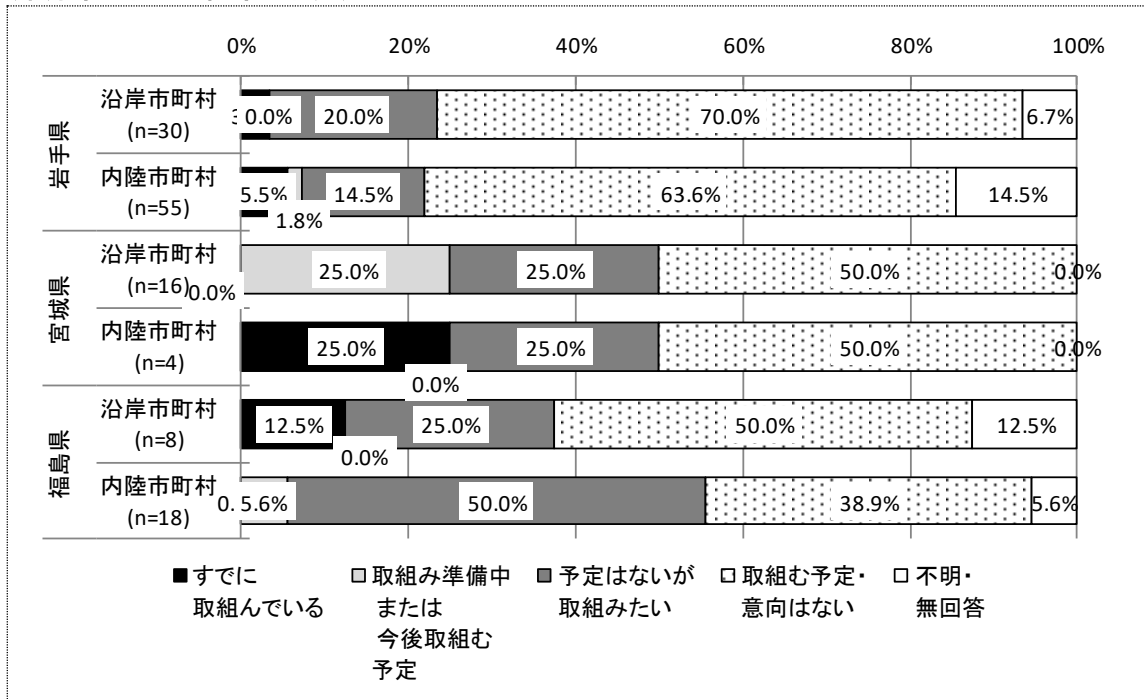
・3県合計で「すでに取り組んでいる」、「取組み準備中・予定」あわせて9.2%。これに「予定はないが取組みたい」を合わせると32.1%となっている。

〈参考〉第8回調査では「すでに取り組んでいる」、「取組み準備中・予定」あわせて3県合計は35.7%。今回3.6ポイント下落。

### (県単位)



### (沿岸市町村・内陸市町村別)

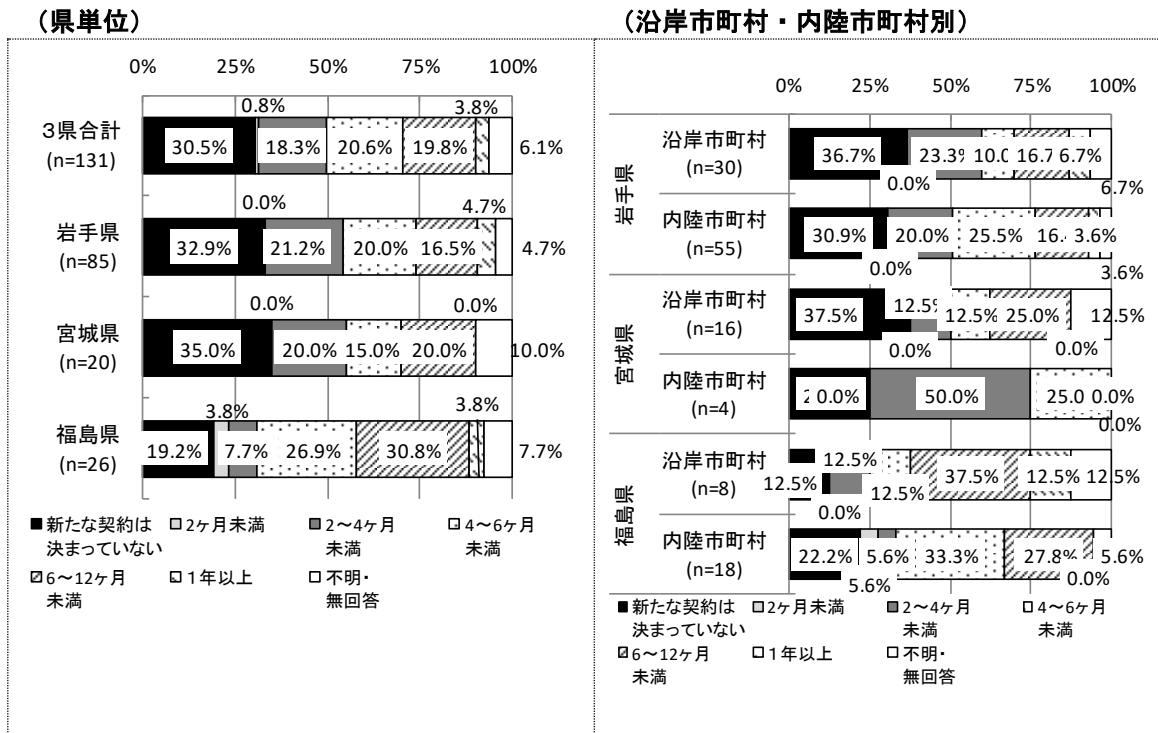


沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 8) 現在、何ヶ月先までの新築工事契約が決まっているか

- 3県平均で3.4ヶ月先までの新築工事の契約が決まっている状況。県別にみると、岩手県3.2ヶ月、宮城県2.9ヶ月、福島県4.7ヶ月であった。
- 〈参考〉第8回調査では上記回答が3県平均で3.9ヶ月、岩手県3.8ヶ月、宮城県3.4ヶ月、福島県4.3ヶ月。岩手県、宮城県は延長傾向にある。
- 沿岸市町村は、内陸市町村より新築工事契約が決まっている期間が長い。とくに福島県の沿岸市町村では、「6～12ヶ月未満」が37.5%を占め、平均7.1ヶ月。



3県平均 : 3.4ヶ月 / 岩手県平均 : 3.2ヶ月  
 宮城県平均 : 2.9ヶ月 / 福島県平均 : 4.7ヶ月

岩手県 沿岸市町村平均 : 3.3ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 3.2ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 3.1ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 2.5ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 7.1ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 3.6ヶ月

### 〈参考：第8回調査〉

3県平均 : 3.9ヶ月 / 岩手県平均 : 3.8ヶ月  
 宮城県平均 : 3.4ヶ月 / 福島県平均 : 4.3ヶ月

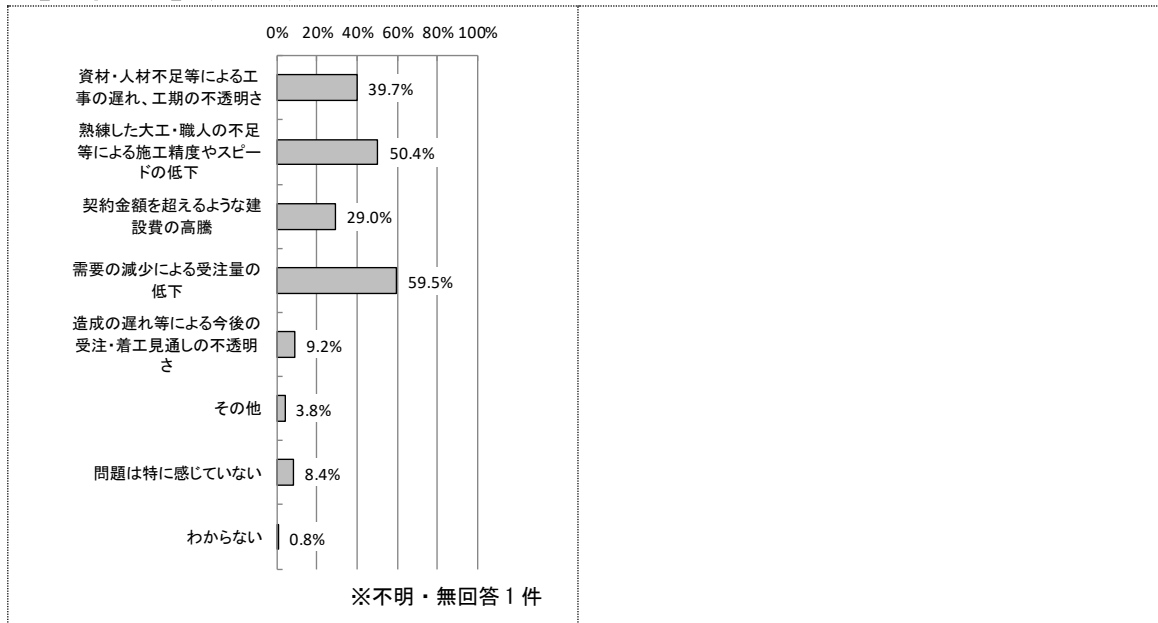
岩手県 沿岸市町村平均 : 5.5ヶ月  
 岩手県 内陸市町村平均 : 3.1ヶ月  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 3.8ヶ月  
 宮城県 内陸市町村平均 : 2.1ヶ月  
 福島県 沿岸市町村平均 : 6.2ヶ月  
 福島県 内陸市町村平均 : 3.6ヶ月

沿岸市町村 : 沿岸部に位置する市町村の工務店が回答 (仙台市は沿岸市町村としている)  
 内陸市町村 : 内陸部に位置する市町村の工務店が回答

## 9) 現在、懸念していること（複数回答）

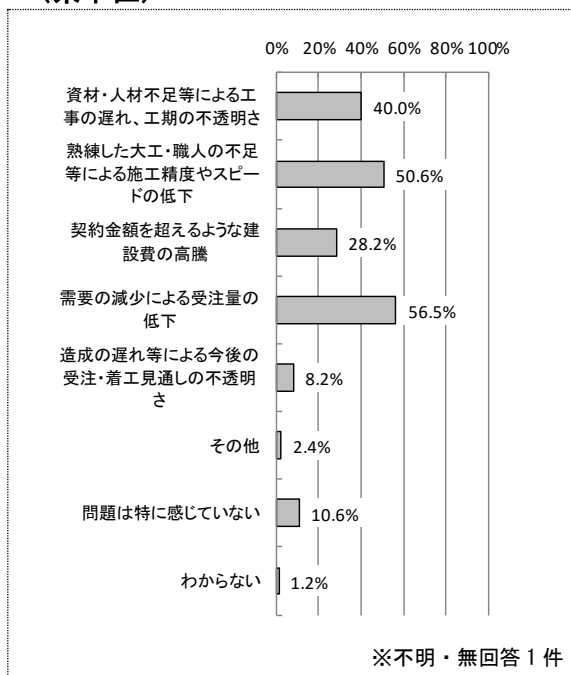
- ・ 3県共通して「受注量の低下」と「施工精度やスピードの低下」が高い傾向にある。
- ・ 福島県では、「需要の減少による受注量の低下」「熟練した大工・職人の不足等による施工精度やスピードの低下」「資材・人材不足等による工事の遅れ、工期の不透明さ」の割合が高く、それぞれ60%前後である。
- ・ 宮城県では、他の2県に比べて「施工精度やスピードの低下」の割合はやや低い。

### 【3県合計】(n=131)

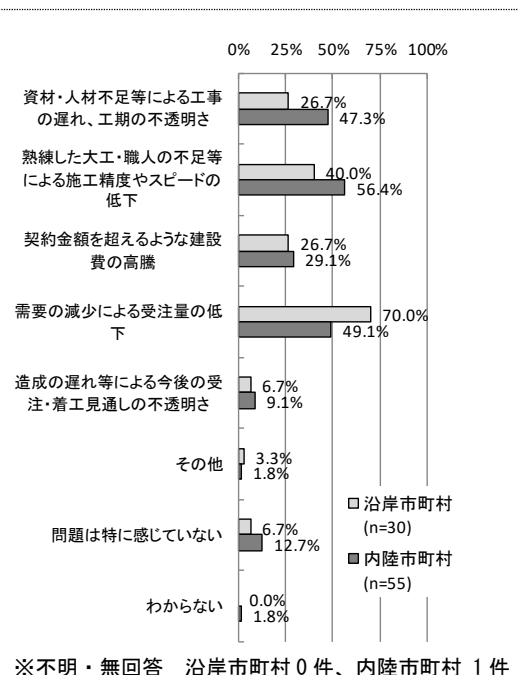


### 【岩手県】(n=85)

#### (県単位)



#### (沿岸市町村・内陸市町村別)

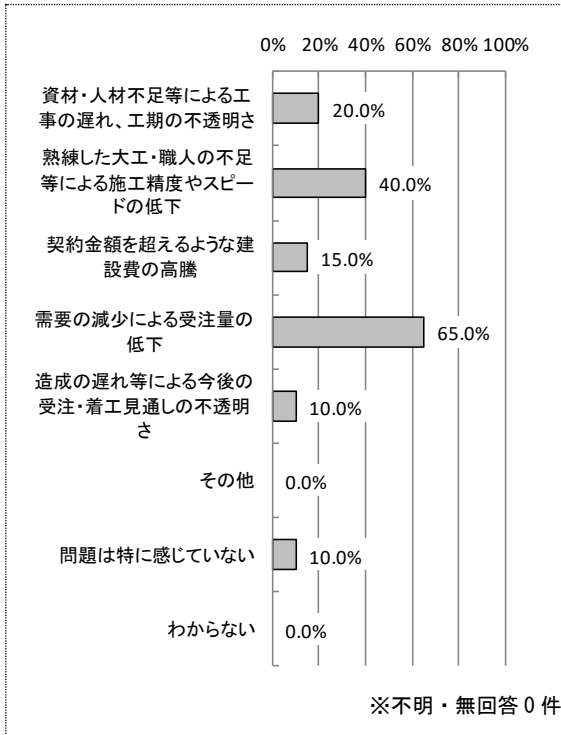


※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。（「問題は特に感じていない」は無効と判断）

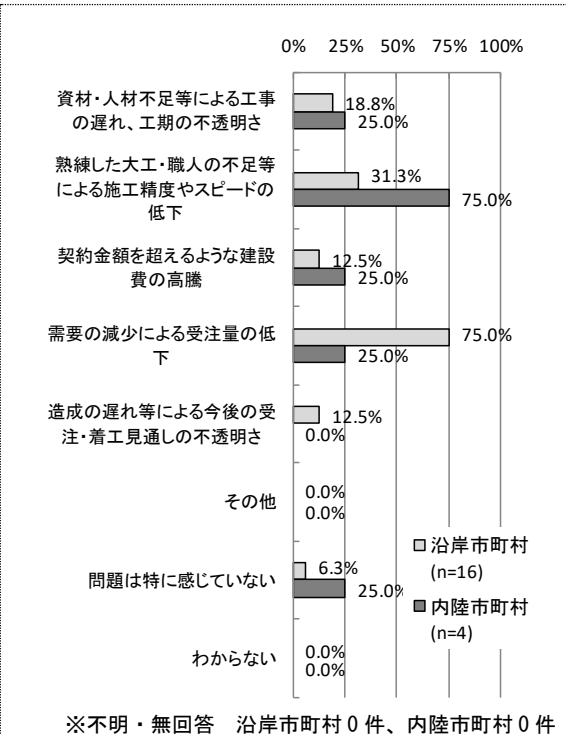
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）

内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

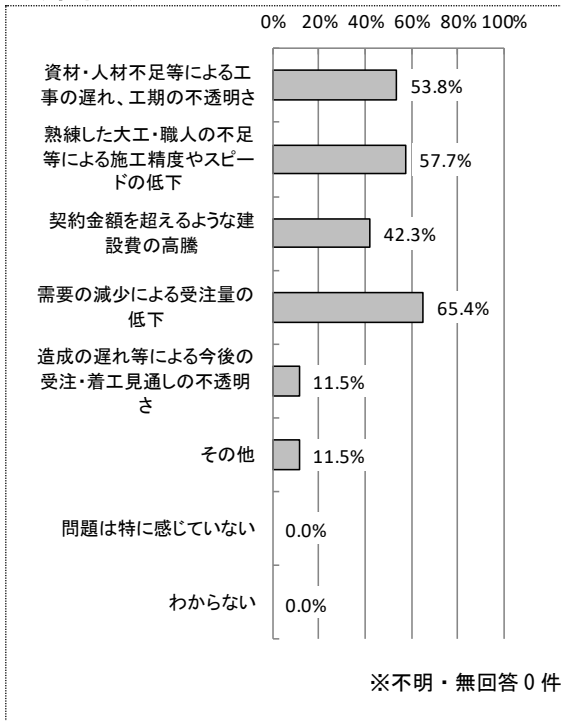
**【宮城県】 (n=20)**  
(県単位)



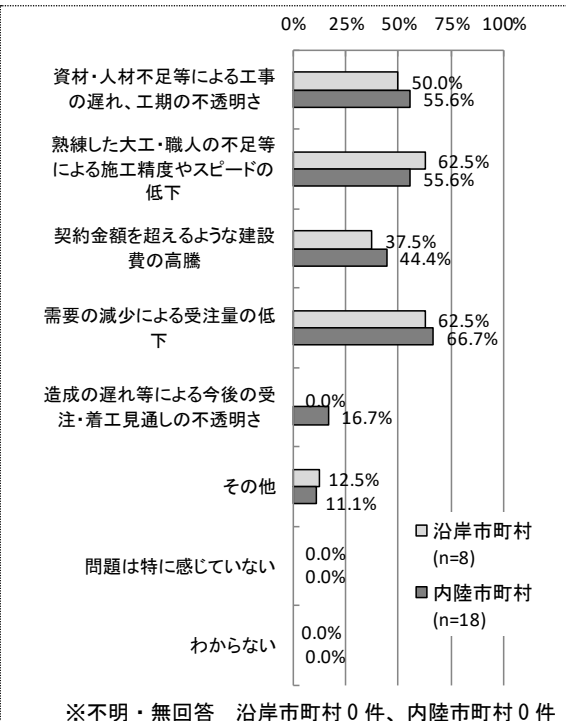
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【福島県】 (n=26)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)

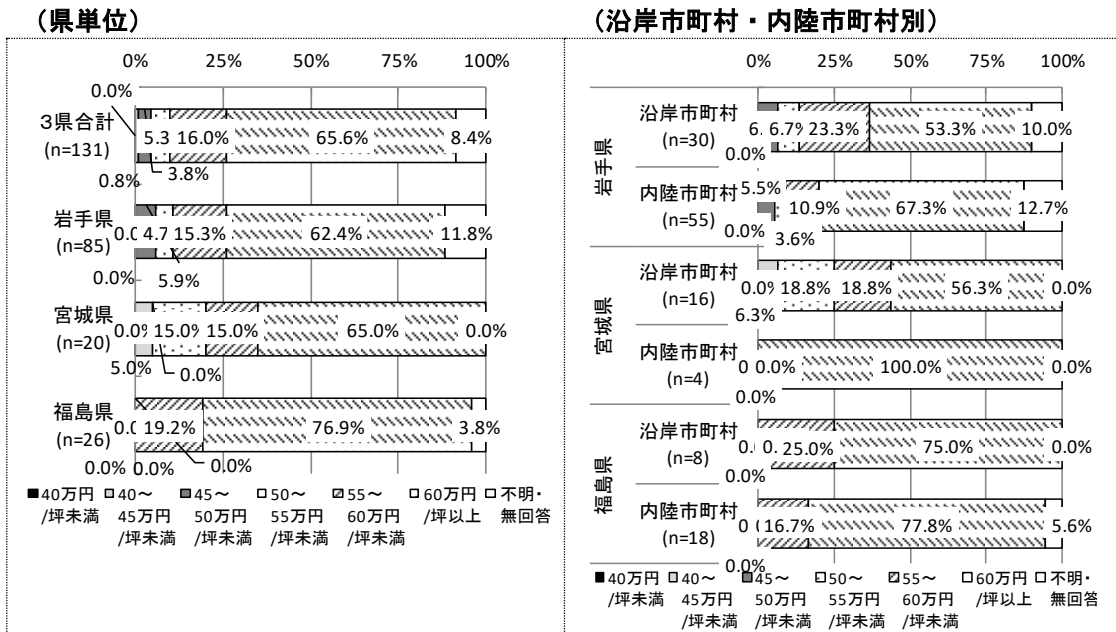


※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。「問題は特に感じていない」は無効と判断

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

(4) 現在（震災後）の工事単価（請負金額）（元請の木造住宅新築工事（建替え含む））

- 3県平均で61.6万円/坪、岩手県60.6万円/坪、宮城県60.3万円/坪、福島県65.9万円/坪で高止りの傾向にある。
- 震災前の3県平均49.1万円/坪に比べると12.5万円/坪の大幅増となっている。  
 〈参考〉 第8回調査では3県平均で60.0万円/坪、岩手県59.6万円/坪、宮城県57.8万円/坪、福島県62.9万円/坪。
- 3県ともに沿岸市町村と内陸市町村で大きな差はみられない。



3県平均 : 61.6万円/坪  
 岩手県平均 : 60.6万円/坪  
 宮城県平均 : 60.3万円/坪  
 福島県平均 : 65.9万円/坪

岩手県 沿岸市町村平均 : 60.1万円/坪  
 岩手県 内陸市町村平均 : 60.8万円/坪  
 宮城県 沿岸市町村平均 : 59.1万円/坪  
 宮城県 内陸市町村平均 : 65.0万円/坪  
 福島県 沿岸市町村平均 : 66.8万円/坪  
 福島県 内陸市町村平均 : 65.5万円/坪

〈参考：第8回調査〉

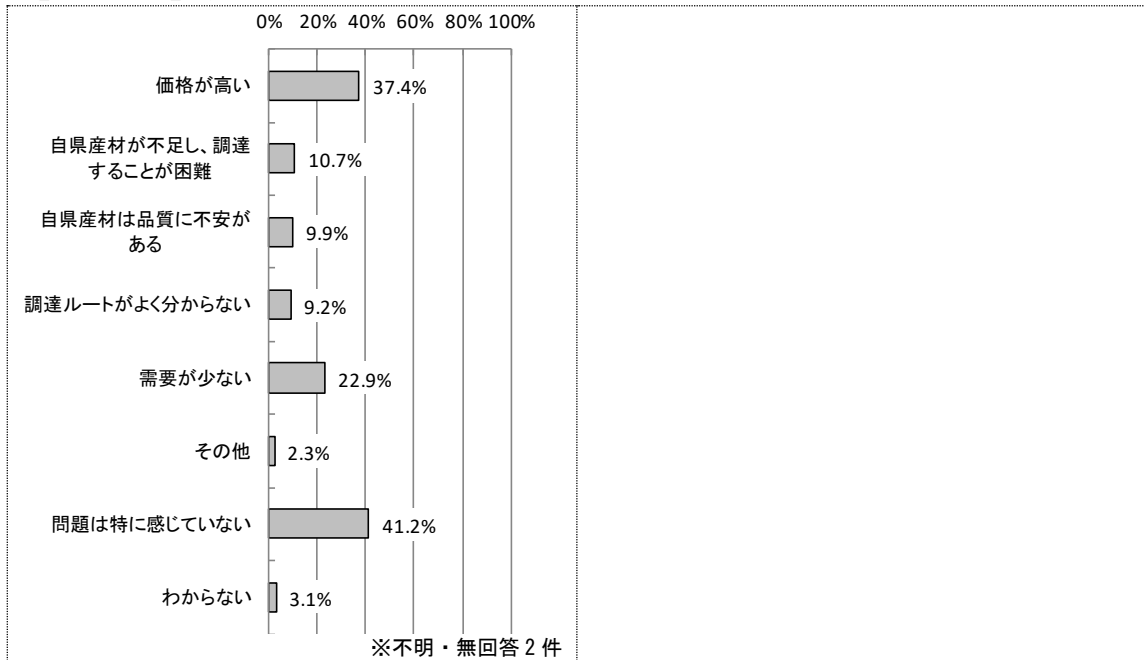
3県平均 : 60.0万円/坪	岩手県平均 : 59.6万円/坪	岩手県 沿岸市町村平均 : 60.0万円/坪
宮城県平均 : 57.8万円/坪	福島県平均 : 62.9万円/坪	岩手県 内陸市町村平均 : 59.4万円/坪
		宮城県 沿岸市町村平均 : 58.2万円/坪
		宮城県 内陸市町村平均 : 56.8万円/坪
		福島県 沿岸市町村平均 : 64.1万円/坪
		福島県 内陸市町村平均 : 62.5万円/坪

沿岸市町村 : 沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村 : 内陸部に位置する市町村の工務店が回答

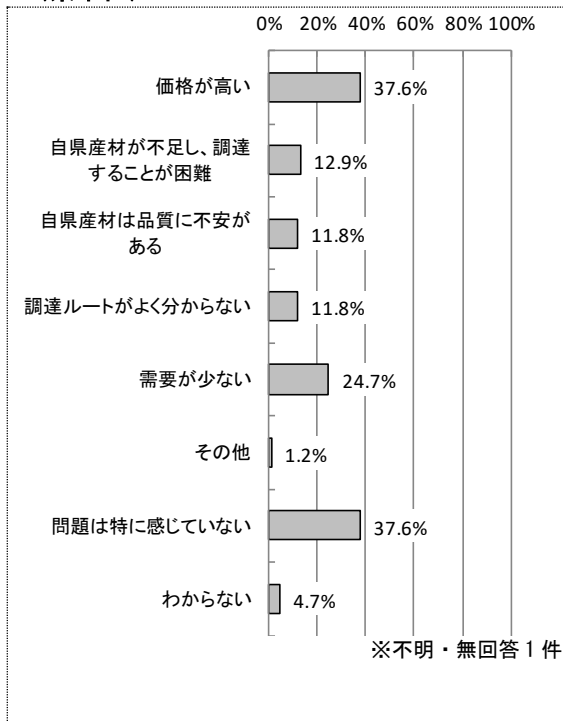
(5) 地域材（自県産材）の活用の問題点（複数回答）

- 3県合計で「問題は特に感じていない」が41.2%。59%程度の施工事業者が、活用に問題があると意識している状況。
- 内容別には、3県合計で「価格が高い」の割合が37.4%と最も高く、県別にみると、宮城県が高い。

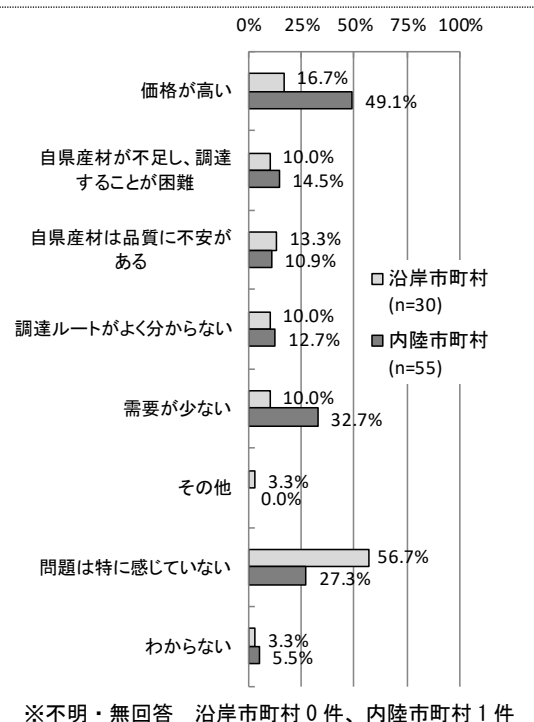
【3県合計】(n=131)



【岩手県】(n=85)  
(県単位)



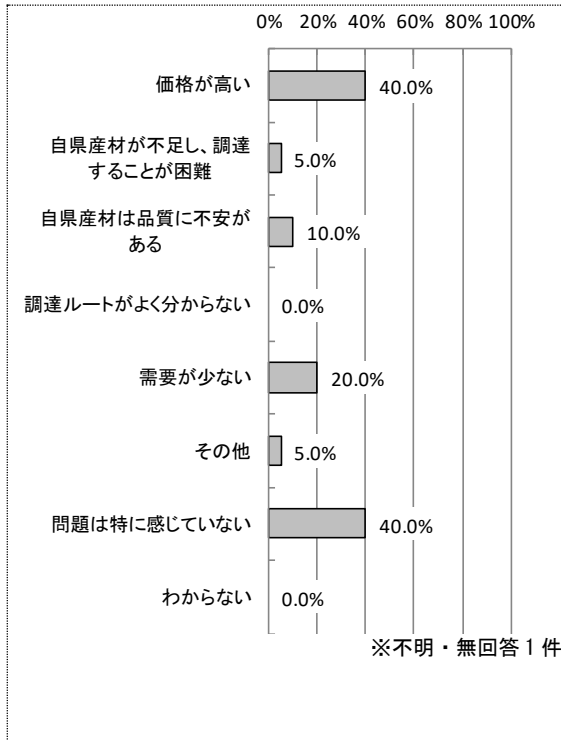
(沿岸市町村・内陸市町村別)



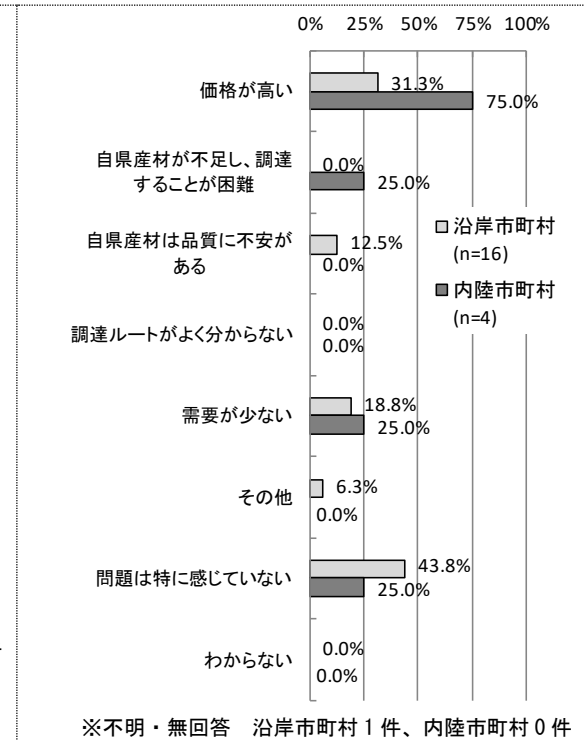
※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。（「問題は特に感じていない」は無効と判断）

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

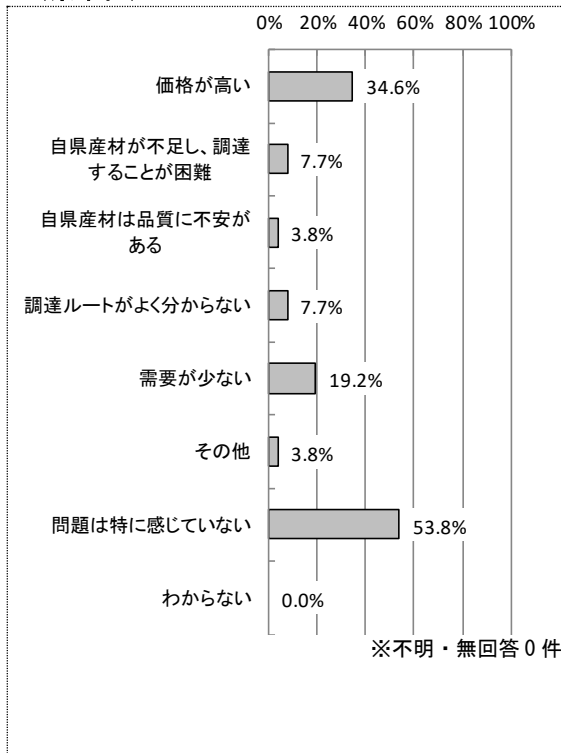
**【宮城県】 (n=20)**  
(県単位)



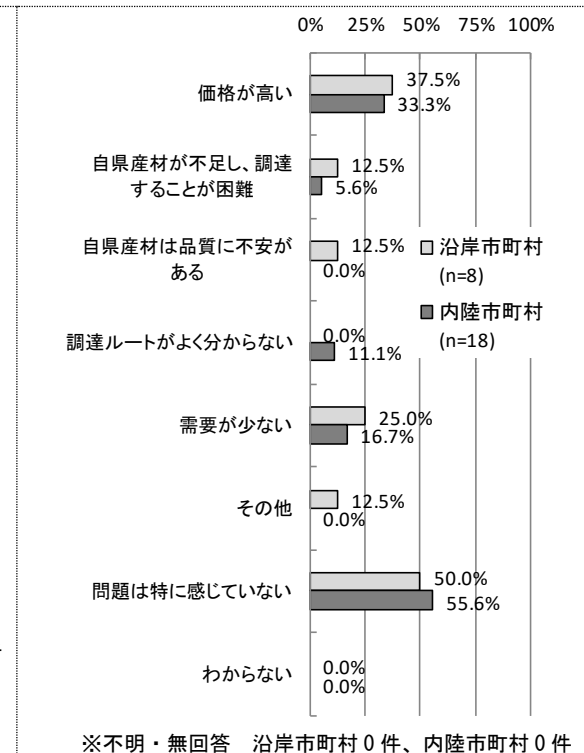
(沿岸市町村・内陸市町村別)



**【福島県】 (n=26)**  
(県単位)



(沿岸市町村・内陸市町村別)



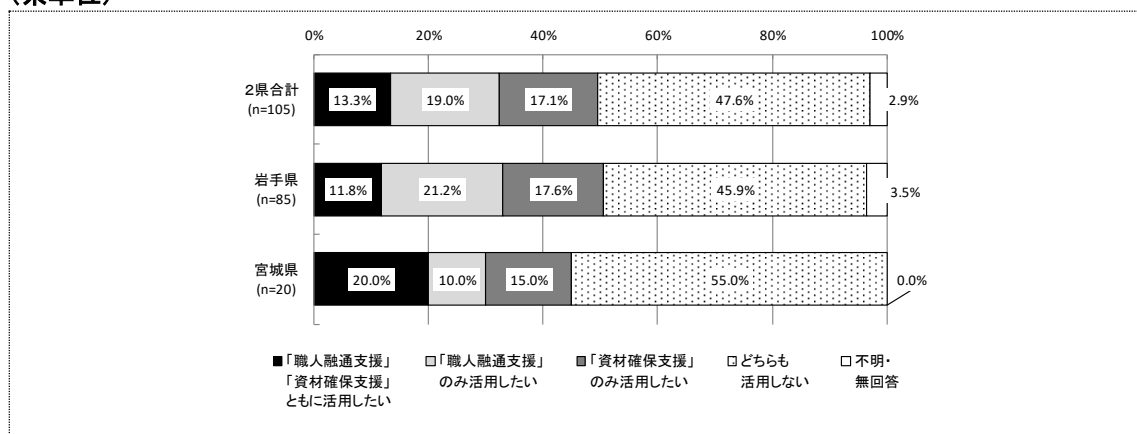
※いずれかの選択肢で「問題あり」と回答し、かつ、「問題は特に感じていない」にも回答している場合は、「問題あり」を優先した。「問題は特に感じていない」は無効と判断

沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答

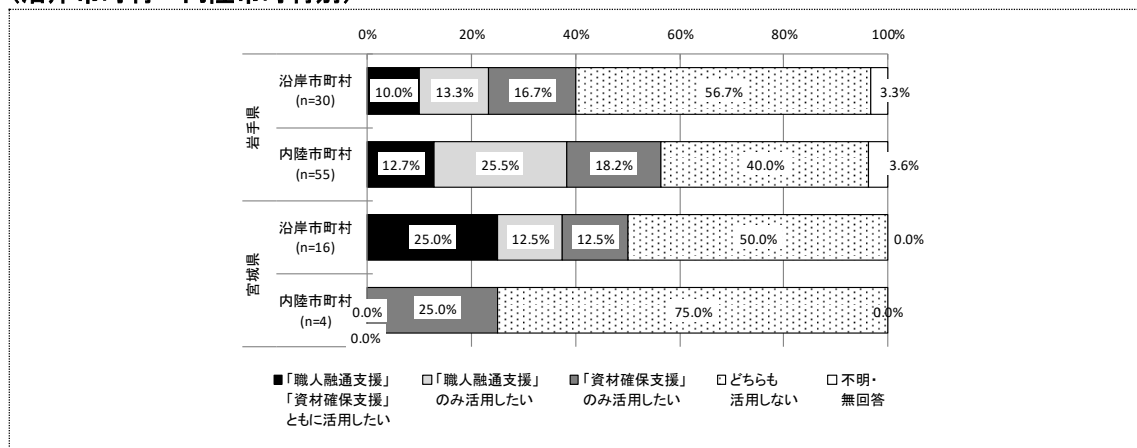
## (6) マッチングサポート制度活用の意向（岩手県、宮城県のみ）

- ・2県合計で「職人融通支援・資材確保支援ともに活用したい」、「職人融通支援のみ活用したい」、「資材確保支援のみ活用したい」を合わせると、49.4%。約5割の施工業者が活用の意向がある。
- ・支援の内容別では、「職人融通支援のみ活用したい」に比べて、「資材確保支援のみ活用したい」の割合が低い。
- ・岩手県は、宮城県に比べて、「職人融通支援のみ活用したい」の割合が高い。
- ・マッチングサポートをしない理由として最も多く挙げられたのは「職人、資材ともに充足しており、マッチングの必要性を感じていない」であった。

### (県単位)



### (沿岸市町村・内陸市町村別)



### 【マッチングサポートを活用しない理由】

- ・職人、資材ともに充足しており、マッチングの必要性を感じていない。(他 23 件)
- ・受注件数が減っており、人員にみあう受注ができていない。(他 4 件)
- ・知らない人に仕事を頼むことに抵抗がある。(他 3 件)
- ・いざという時にあてにならない。
- ・単価の高さ、責任問題が心配である。

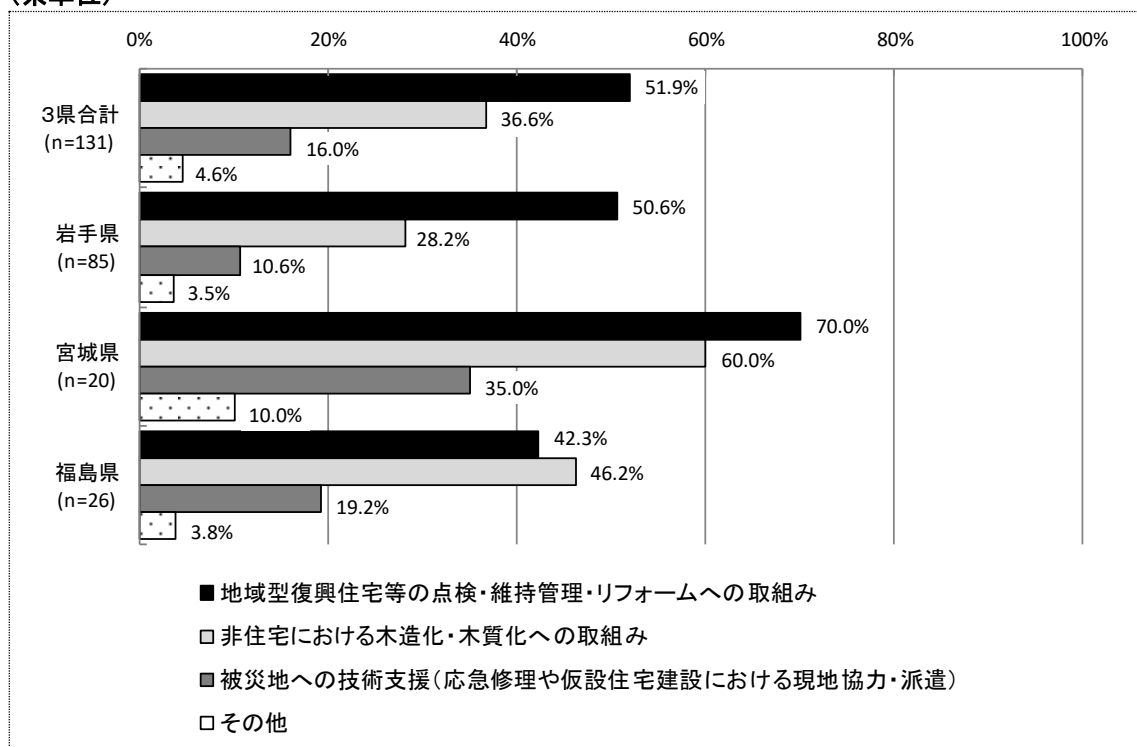
沿岸市町村：沿岸部に位置する市町村の工務店が回答（仙台市は沿岸市町村としている）  
 内陸市町村：内陸部に位置する市町村の工務店が回答



## (7) 復興が進む中での地域住宅生産者グループに期待する取組み

- 3県合計では「地域型復興住宅等の点検・維持管理・リフォームへの取組み」が51.9%、次いで「非住宅における木造化・木質化への取組み」が36.6%。
- 宮城県は他の2県に比べてどの取組みも高い割合となっている。

(県単位)



### 【「その他」の自由回答】

- 地域の工務店の魅力の掘り起こし（ハウスメーカーにはない）。
- 地域住宅生産者グループのメリットをお客様に伝えて活用していただくことが必要。
- ハウスメーカーとの差別化を図るためのセミナーや、営業支援ツール、リフォーム営業の勉強会や情報の共有。（他2件）
- 新築物件の減少に対応するため、リフォーム（住宅）や非住宅物件の受注につながる取組み。
- 地震被害から水害被害建物の点検・維持管理・リフォームに対する知見の習得。
- 被災者及び被災地向けの受注金額で現場を進めることが難しい状況にある。
- 地域型復興住宅としての受注に至らない、需要がない、グループとして活動することのメリットが少ない。（他2件）

## (8) 住宅復興ならびに復興後を見据えての問題点や課題、必要な支援等について

### <受注量の減少>

- ・被災地の需要減と、これまでの旺盛な需要の反動で大きな受注減への懸念（他3件）。
- ・労務単価が高いまま推移している為、住宅建設費も高騰したままである。
- ・台風による浸水被害住宅復旧工事の受注により、建築工事の需要減少への懸念は少しの間は先送りされている。

### <被災地の住宅への懸念事項>

- ・被災地で建設した住宅のアフターメンテナンスが今後の課題になる。
- ・沿岸の拠点を閉鎖してスタッフを内陸部に戻しており、タイムリーな対応が難しくなっている。

### <新しい分野への取組み>

- ・新築住宅の受注はやや減少気味だが、リフォーム・リノベーションの受注が増加傾向。
- ・既存建物の耐震診断や耐震補強、断熱改修工事に取り組むべき。
- ・近年災害が多くなっているが、被災後の住宅の修理は地元業者が活躍すべき領域として、地震や水害に対する住宅の修理の技術力を高めることが必要。
- ・空き家・空き店舗の大規模改修による利活用需要を取り込みたく、それら需要の掘り出しやマッチング方式、具体的な活用手法（例えば若者向けに低廉に賃貸化）の検討などに期待する。（他2件）
- ・非住宅分野での木造化需要増加を見据え、木造躯体の準耐火構造化への取組み。
- ・技術向上のための講習会などの開催。
- ・優良みやぎ材の位置づけ、地域型（みやぎ）住宅に取り組む工務店や次世代を担う工務店への支援。

### <環境整備、後継者育成や技術力向上>

- ・信頼のおける業者であることの証明となるもの、身分証明書や身に付けるものなどのトレードマーク、バッジ及びコマーシャルなどでの一般市民への周知方法について検討し、悪徳業者の追放と、営業環境が改善されるとよい。
- ・今後の若い後継者の育成、大工棟梁の育成。
- ・そのための労働環境整備が必要だが、工事費にしわ寄せがいきってしまい、労働環境、給与、社会保障の充実にまで至ることができない。（他2件）

### <その他>

- ・一般的な工務店・ハウスメーカーなどの一般工事請負と地域型生産者グループに依頼した場合の明確なメリットが一般の顧客に分かりにくいと感じる。
- ・生産者グループを維持することの難しさがあり、参加している工務店にとって魅力ある活動に期待する。
- ・これまでの地域型復興住宅の成果を示してほしい。また、今後の展望を示してほしい。

### 3. 全9回の調査結果を踏まえた考察

---

平成25年2月以降これまでに全9回の調査を実施し、被災東北3県の住宅復興の状況を定点把握してきた。

ここでは、これまでの調査結果をもとに、発災からもうすぐ9年を迎えるなかでの現在の住宅の復興状況について概観する。

#### <これまでの調査概要>

	実施時期	3県合計			
		岩手県	宮城県	福島県	
第1回	H25. 2頃	144	76	22	46
第2回	H25.10頃	181	106	30	45
第3回	H26. 7頃	156	72	51	33
第4回	H27. 7頃	117	57	28	32
第5回	H27.12頃	115	54	26	35
第6回	H28.10頃	114	53	42	19
第7回	H29.12頃	134	64	31	39
第8回	H30.12頃	143	78	31	34
第9回	R1. 12頃	131	85	20	26

※各回調査とも同じグループを対象に調査しているが、毎回、回収率は異なる。

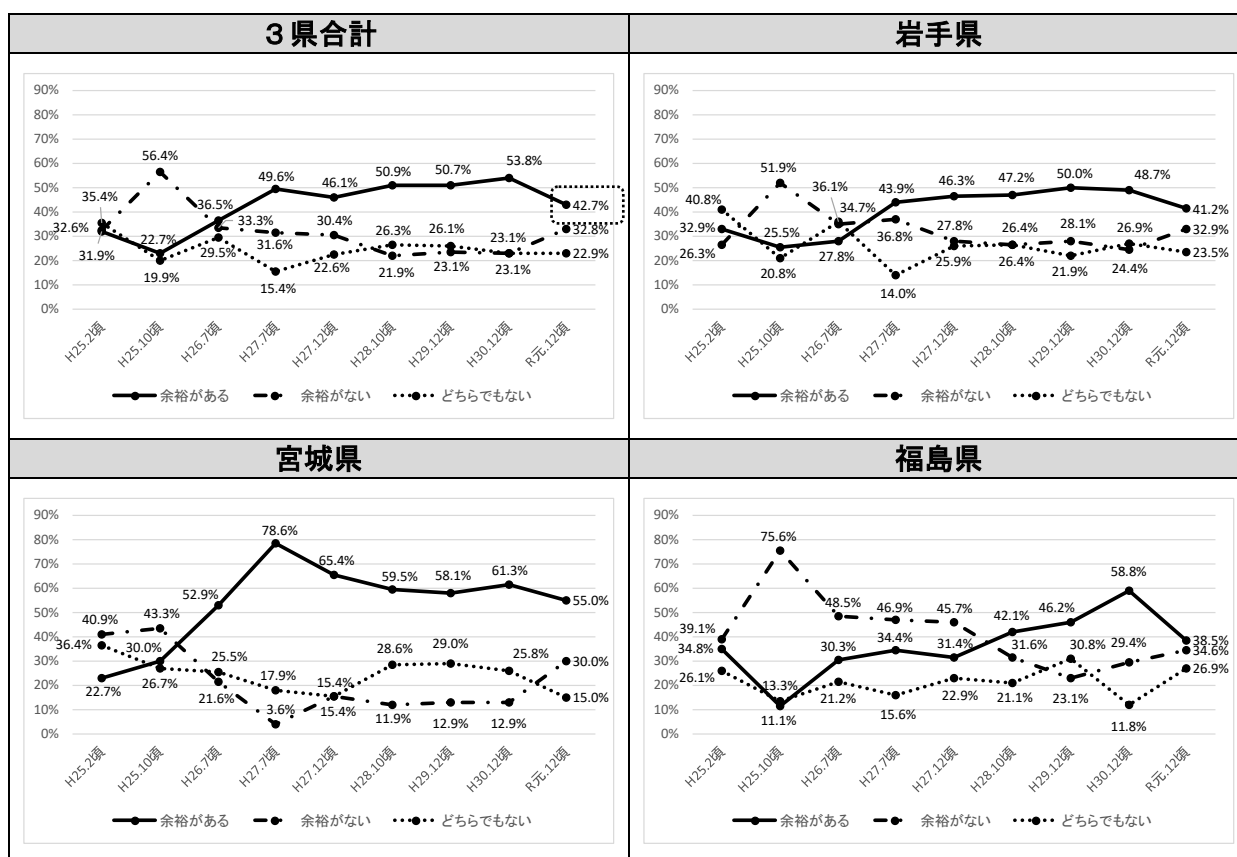
## (1) 受注対応力（余裕の有無）

受注対応力として「余裕がない」「どちらでもない」の合計が半数を超えており、一定数の適度な仕事が確保できていることが伺える。また、ここ数年の推移にて、受注対応力に「余裕がない」のポイントが上がってきていることから、仕事量が徐々に増えつつある傾向が読み取れる。

ここ数年は、受注対応力は「余裕がある」が5割強で推移してきたが、今回調査では42.7%と11ポイントも下落した。ここ数年続いてきた余裕のある状態が、徐々に仕事量が適量もしくは増加へと転じてきた可能性がある。

なお、今回の調査時期が10月の令和元年台風19号とその後の大雨被害の直後ということもあり、災害復旧対応による受注増が原因となっていることも考えられる。

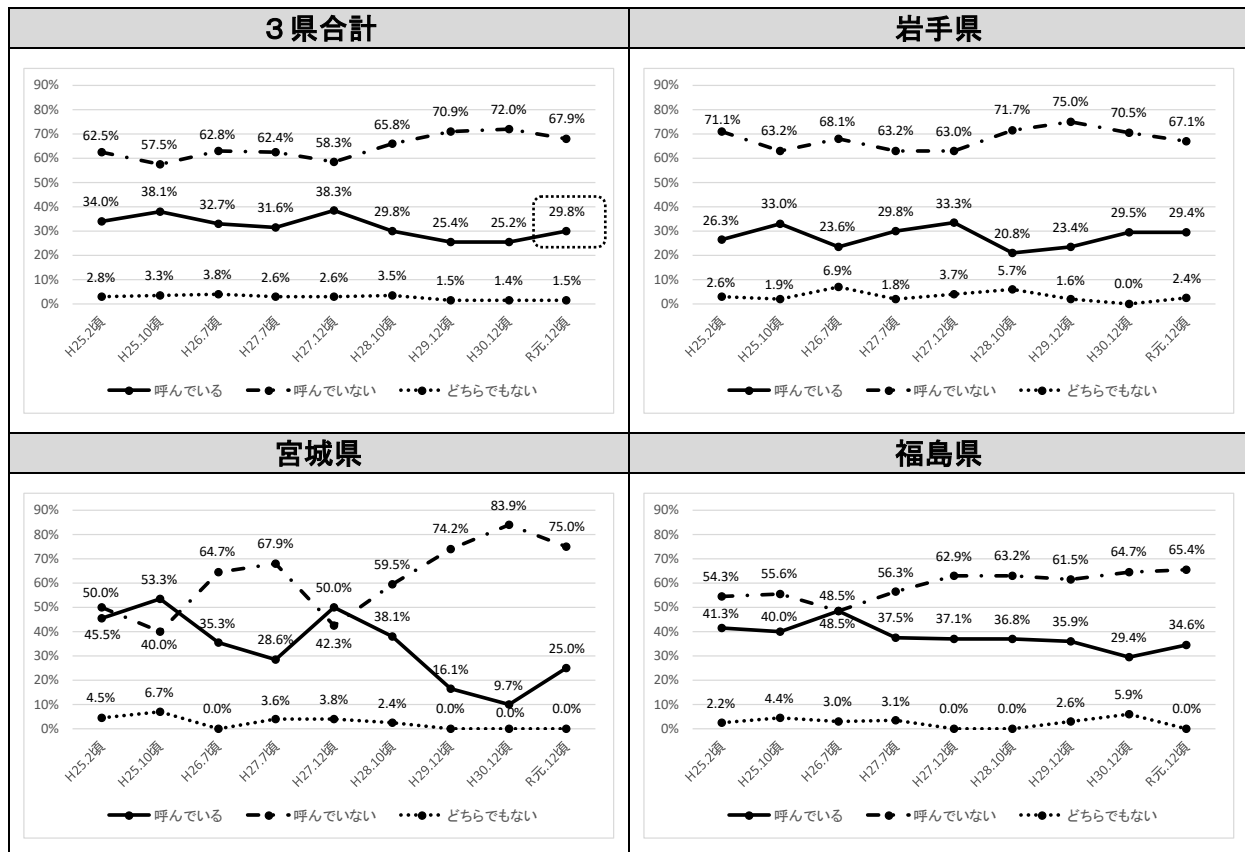
この傾向は、岩手県、宮城県、福島県ともに同様である。



## (2) 他の市町村・県からの大工・職人等の応援状況

他の市町村・県からの大工・職人等の応援について、約3割が「応援を呼んでいる」結果であった。推移をみると、第5回調査以降「応援を呼んでいる」は減少し続けたが、第9回調査では4.6ポイント上昇へと転じた。

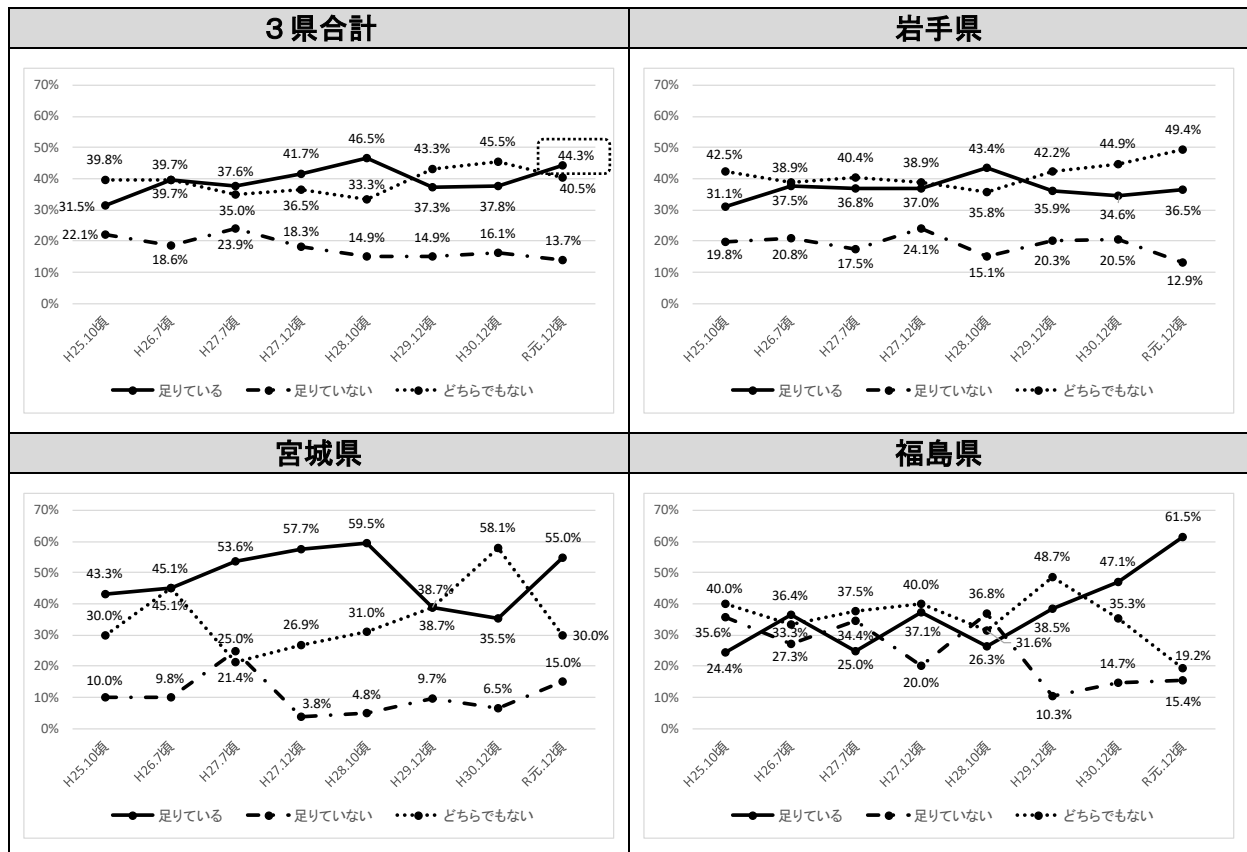
各県による特徴の違いはあるが、第5回調査以降は増加傾向にあった「応援を呼んでいない」が今回調査にて減少し、「応援を呼んでいる」が増加した背景には、復興に限らず住宅建設やリフォーム需要等が伸びてきていることが推察される。



### (3) 大工・職人等の宿泊施設の状況

大工・職人等の宿泊施設の状況は、3県合計で「足りている」が44.3%であり、今回6.5ポイント上昇し、「どちらでもない」を上回った。

また、「足りていない」は3県ともに減少しているが、約1割では、いまだに宿泊施設が不足している状況にある。

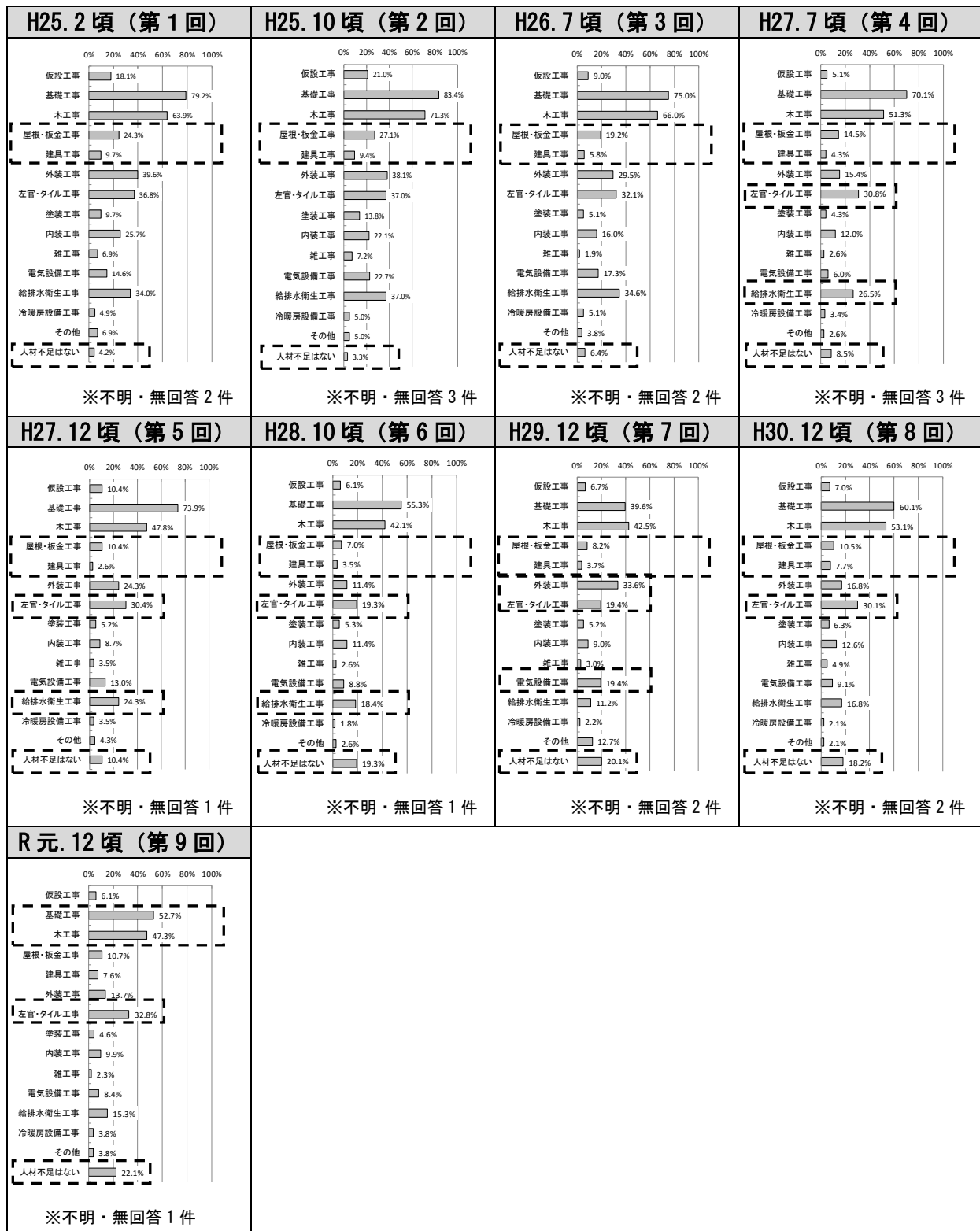


### (4) 工事種別人材の状況 ①【3県合計】

「人材不足はない」の割合が増加（今回 3.9 ポイント上昇）したが、ほとんどの施工業者になんらかの人材不足が発生している状況にある。

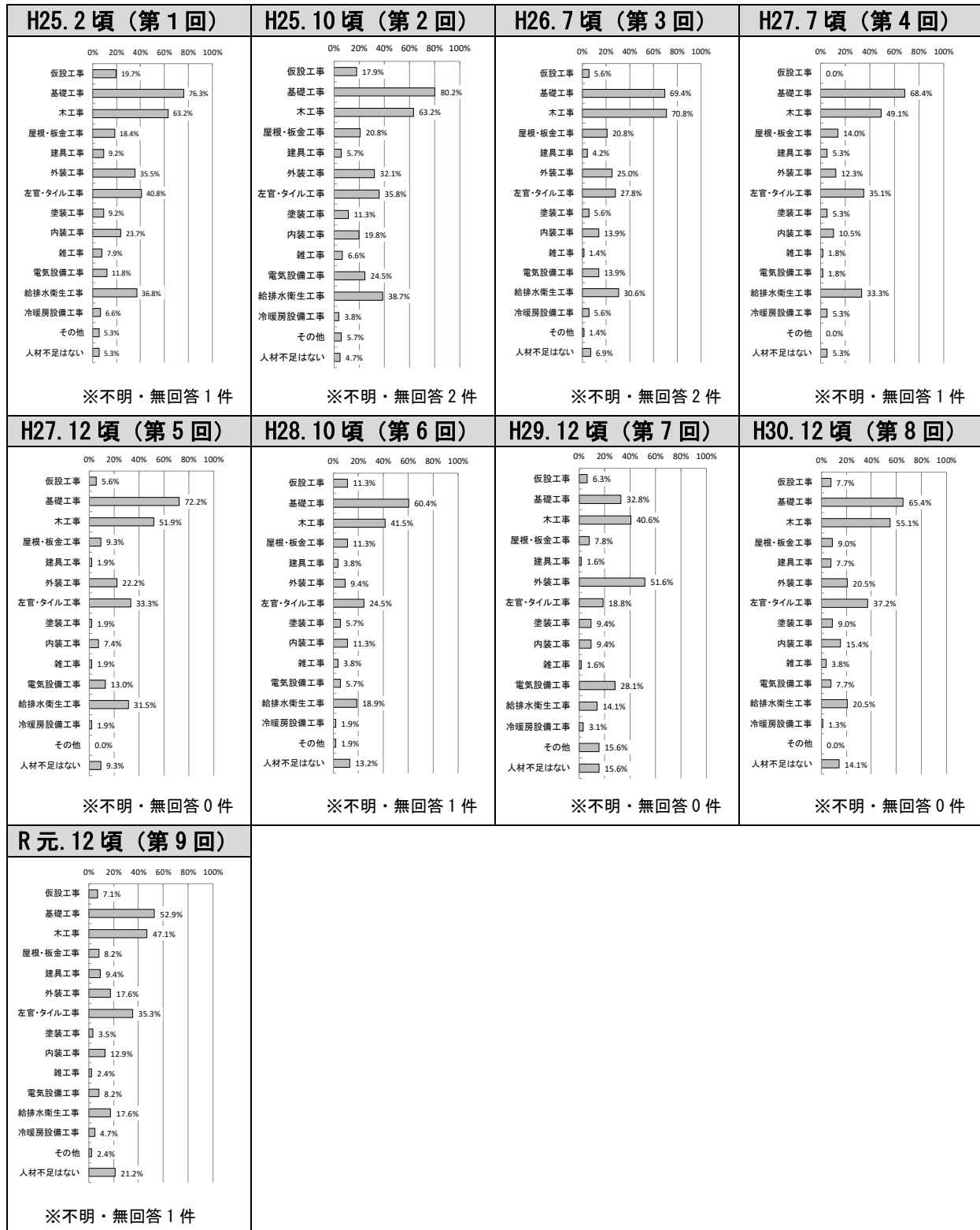
第1回調査以降、「基礎工事」、「木工事」、「左官・タイル工事」が不足していることがわかる。次いで、「給排水衛生工事」、「外装工事」などの不足が続く。

なお、「基礎工事」、「木工事」、「左官・タイル工事」を中心に職人の高齢化や後継者不足が進んでおり、今後もこの傾向は続くと推察される。



## (4) 工事種別人材の状況 ②【岩手県】

岩手県についても、①3県合計とほぼ同じ結果であり、「人材不足はない」が徐々に増加（第9回調査：21%）し、不足職種は「基礎工事」、「木工事」、「左官・タイル工事」である。

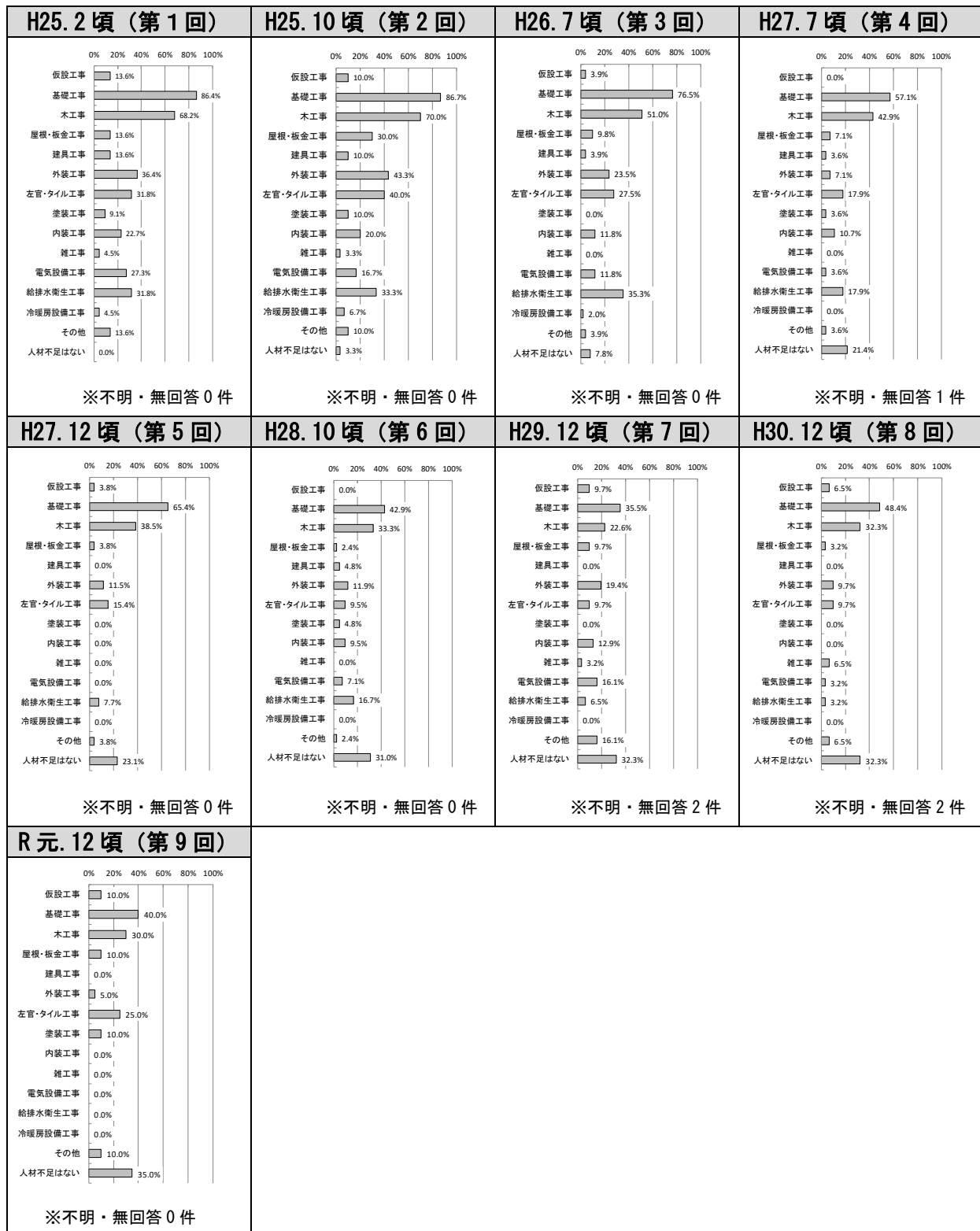




### (4) 工事種別人材の状況 ③【宮城県】

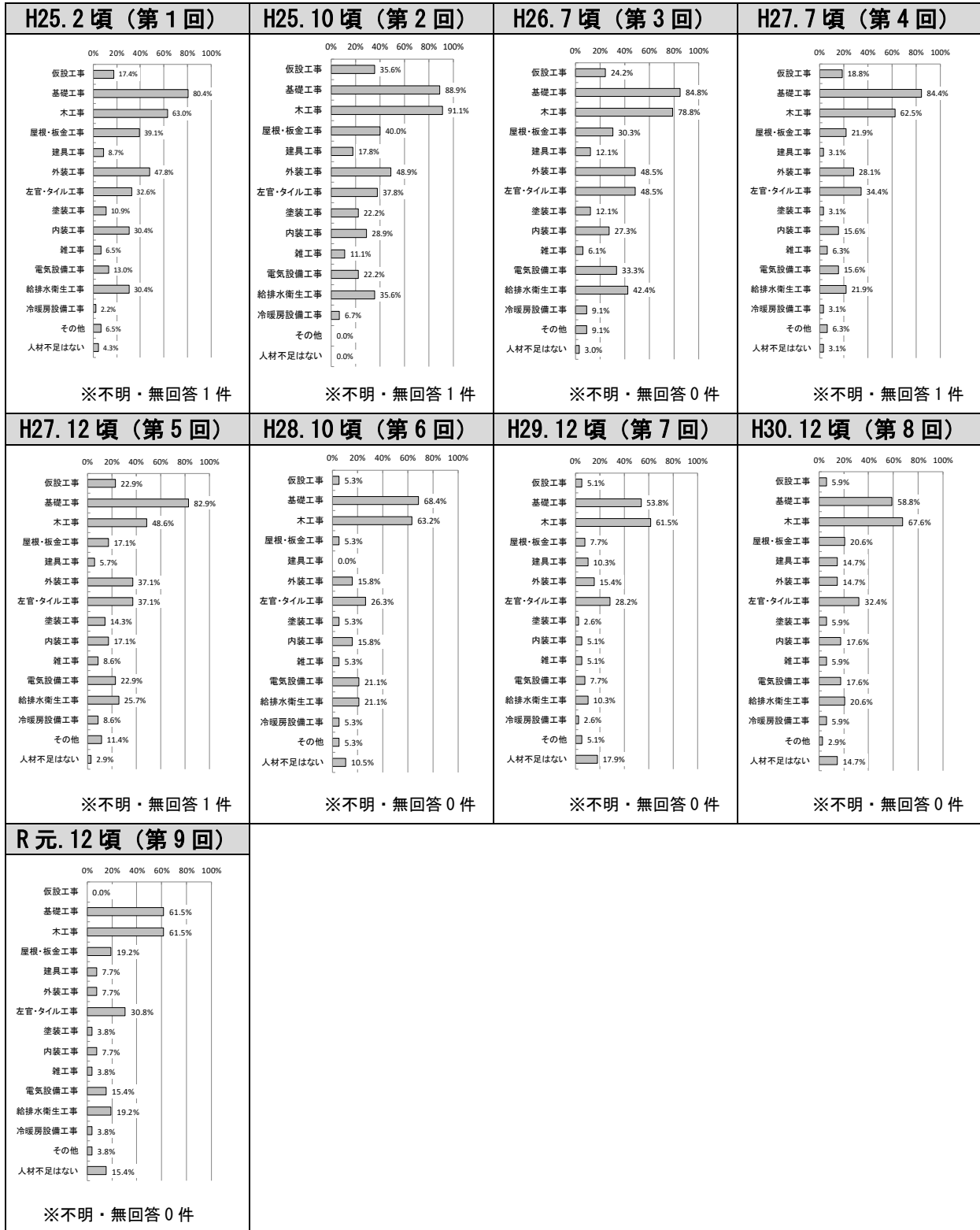
宮城県についても、①3県合計とほぼ同じ結果だが「人材不足はない」が35%と多いのが特徴的である。

また、不足職種は「基礎工事」、「木工事」「左官・タイル工事」であり、他県と同じである。



(4) 工事種別人材の状況 ④【福島県】

福島県についても、①3県合計とほぼ同じ結果であり、「人材不足はない」が徐々に増加し（第9回調査：15%）、不足職種は「基礎工事」、「木工事」「左官・タイル工事」である。



### (5) 建材・資材等の状況 ①【3県合同】

建材・資材の不足の状況は、3県合計で「不足はない」が74.0%であり、今回調査にて5.5ポイント上昇している。

これまで同様に「コンクリート」不足のポイントが高くなっているが、ポイント数そのものは徐々に減少しており今回調査では11.5%にとどまっている。

H25.2 頃 (第1回)	H25.10 頃 (第2回)	H26.7 頃 (第3回)	H27.7 頃 (第4回)
<p>※不明・無回答 12 件</p>	<p>※不明・無回答 17 件</p>	<p>※不明・無回答 14 件</p>	<p>※不明・無回答 10 件</p>
H27.12 頃 (第5回)	H28.10 頃 (第6回)	H29.12 頃 (第7回)	H30.12 頃 (第8回)
<p>※不明・無回答 9 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 7 件</p>	<p>※不明・無回答 7 件</p>
R元.12 頃 (第9回)			
<p>※不明・無回答 4 件</p>			

## (5) 建材・資材等の状況 ②【岩手県】

岩手県についても、①3県合計とほぼ同じ結果であり、「不足はない」が75.3%である。今回調査にて11ポイントも上昇していることが特徴的である。

また、「コンクリート」不足は10%にまで減少し、その減少分がそのまま「不足はない」にまわっていると推察され、建材・資材等の需給関係は特に問題ないといえる。

H25.2 頃 (第1回)	H25.10 頃 (第2回)	H26.7 頃 (第3回)	H27.7 頃 (第4回)
<p>※不明・無回答 6 件</p>	<p>※不明・無回答 13 件</p>	<p>※不明・無回答 9 件</p>	<p>※不明・無回答 5 件</p>
H27.12 頃 (第5回)	H28.10 頃 (第6回)	H29.12 頃 (第7回)	H30.12 頃 (第8回)
<p>※不明・無回答 5 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 5 件</p>	<p>※不明・無回答 5 件</p>
R元.12 頃 (第9回)			
<p>※不明・無回答 4 件</p>			

### (5) 建材・資材等の状況 ③【宮城県】

宮城県についても、「不足はない」が95%を占めており、建材・資材の問題点はないといえる。「コンクリート」不足は、5%にまで減少している。

H25. 2 頃 (第 1 回)	H25. 10 頃 (第 2 回)	H26. 7 頃 (第 3 回)	H27. 7 頃 (第 4 回)
<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 3 件</p>	<p>※不明・無回答 1 件</p>
H27. 12 頃 (第 5 回)	H28. 10 頃 (第 6 回)	H29. 12 頃 (第 7 回)	H30. 12 頃 (第 8 回)
<p>※不明・無回答 1 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>
R 元. 12 頃 (第 9 回)			
<p>※不明・無回答 0 件</p>			

(5) 建材・資材等の状況 ④【福島県】

福島県についても、建材・資材等の「不足はない」が 53.8%であり、今回調査にて 6.8 ポイント減少している。

他県と比べて「コンクリート」不足が 19.2%と多くなっている。

H25. 2 頃 (第 1 回)	H25. 10 頃 (第 2 回)	H26. 7 頃 (第 3 回)	H27. 7 頃 (第 4 回)
<p>※不明・無回答 4 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 2 件</p>	<p>※不明・無回答 4 件</p>
H27. 12 頃 (第 5 回)	H28. 10 頃 (第 6 回)	H29. 12 頃 (第 7 回)	H30. 12 頃 (第 8 回)
<p>※不明・無回答 3 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>	<p>※不明・無回答 0 件</p>
R 元. 12 頃 (第 9 回)			
<p>※不明・無回答 0 件</p>			

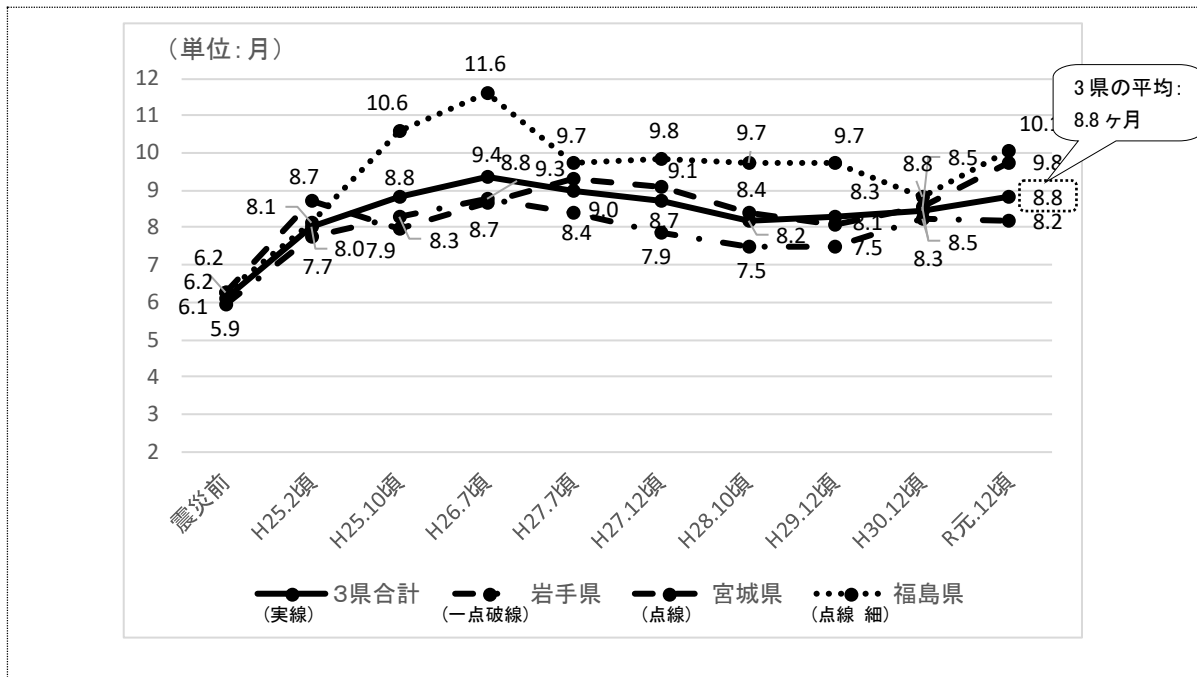
(6) 契約～完成・引渡までの平均期間 (単位：ヶ月)

契約～完成・引渡しまでの期間は、震災以降、第3回調査までは期間が長くなる傾向にあったが、第4回調査以降は期間が短縮化されていく傾向であった。

しかし、今回調査では宮城県、福島県は期間が長くなっており、結果的に3県合計で0.3カ月長く8.8カ月となった。震災前の3県合計6.1ヶ月と比べると2.7ヶ月の大幅増となっており、震災前の通常期間にまで戻するには、まだまだもう少し時間が必要と推察される。

特に、津波被害を受けた沿岸部では、住宅再建が続いていることや全工種で人材不足が著しいことから、しばらくの間は契約から完成・引渡までの長期化が続くと推察される。

	震災前	震災後										
		H25.2頃 第1回	H25.10頃 第2回	H26.7頃 第3回	H27.7頃 第4回	H27.12頃 第5回	H28.10頃 第6回	H29.12頃 第7回	H30.12頃 第8回	R元.12頃 第9回		
3県合計	6.1ヶ月 (UP)	8.0ヶ月 (UP)	8.8ヶ月 (UP)	9.4ヶ月 (DW)	9.0ヶ月 (DW)	8.7ヶ月 (DW)	8.2ヶ月 (UP)	8.3ヶ月 (UP)	8.5ヶ月 (UP)	8.8ヶ月		
岩手県	5.9ヶ月 (UP)	7.7ヶ月 (UP)	8.3ヶ月 (UP)	8.8ヶ月 (DW)	8.4ヶ月 (DW)	7.9ヶ月 (DW)	7.5ヶ月 (UP)	7.5ヶ月 (UP)	8.3ヶ月 (DW)	8.2ヶ月		
宮城県	6.2ヶ月 (UP)	8.7ヶ月 (DW)	7.9ヶ月 (UP)	8.7ヶ月 (UP)	9.3ヶ月 (DW)	9.1ヶ月 (DW)	8.4ヶ月 (DW)	8.1ヶ月 (UP)	8.5ヶ月 (UP)	9.8ヶ月		
福島県	6.2ヶ月 (UP)	8.1ヶ月 (UP)	10.6ヶ月 (UP)	11.6ヶ月 (DW)	9.7ヶ月 (UP)	9.8ヶ月 (DW)	9.7ヶ月 (UP)	9.7ヶ月 (DW)	8.8ヶ月 (DW)	10.1ヶ月		



※各回調査とも同じグループを対象に調査を行っているが、毎回、回収率は異なっており、上表の結果は各回調査の平均値で示している。  
 ※震災前の状況は、第1回調査における調査結果に基づく。

## (7) 平均工事単価（請負金額）の状況 （単位：万円/坪）

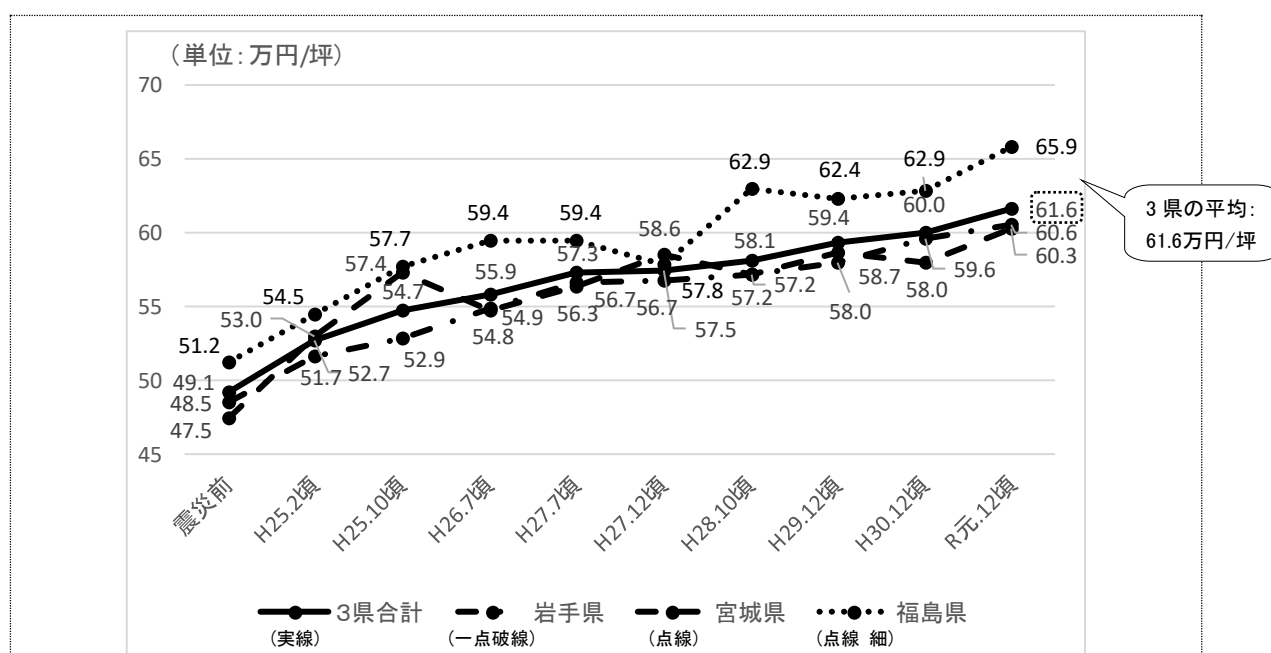
震災以降、工事単価（請負金額）は上昇傾向が続いており、増減傾向に若干の違いはみられるが3県ともに上昇傾向が続いていることに変わりはない。

今回調査では、これまでで最も高い工事単価となり、3県合計で61.6万円/坪と震災前の49.1万円/坪と比べると、12.5万円/坪の大幅増となった。

特に、福島県では65.9万円/坪まで上がっており、震災前から14.7万円/坪も増加している。

大工（木工事）、仮枠工（基礎工事）、左官工（左官・タイル工事）等の職人の高齢化や後継者不足が著しいこと、太陽光発電、住宅の高断熱化、住宅設備の価格上昇などから、工事単価の高止まりは今後も続くと推察される。

	震災前	震災後																	
		H25.2 頃 第1回	H25.10 頃 第2回	H26.7 頃 第3回	H27.7 頃 第4回	H27.12 頃 第5回	H28.10 頃 第6回	H29.12 頃 第7回	H30.12 頃 第8回	R元.12 頃 第9回									
3県合計	49.1万円	⇒ (UP)	52.7万円	⇒ (UP)	54.7万円	⇒ (UP)	55.9万円	⇒ (UP)	57.3万円	⇒ (UP)	57.5万円	⇒ (UP)	58.1万円	⇒ (UP)	59.4万円	⇒ (UP)	60.0万円	⇒ (UP)	61.6万円
岩手県	48.5万円	⇒ (UP)	51.7万円	⇒ (UP)	52.9万円	⇒ (UP)	54.9万円	⇒ (UP)	56.7万円	⇒ (UP)	56.7万円	⇒ (UP)	57.2万円	⇒ (UP)	58.0万円	⇒ (UP)	59.6万円	⇒ (UP)	60.6万円
宮城県	47.5万円	⇒ (UP)	53.0万円	⇒ (UP)	57.4万円	⇒ (DW)	54.8万円	⇒ (UP)	56.3万円	⇒ (UP)	58.6万円	⇒ (DW)	57.2万円	⇒ (UP)	58.7万円	⇒ (DW)	58.0万円	⇒ (UP)	60.3万円
福島県	51.2万円	⇒ (UP)	54.5万円	⇒ (UP)	57.7万円	⇒ (UP)	59.4万円	⇒ (UP)	59.4万円	⇒ (DW)	57.8万円	⇒ (UP)	62.9万円	⇒ (DW)	62.4万円	⇒ (UP)	62.9万円	⇒ (UP)	65.9万円



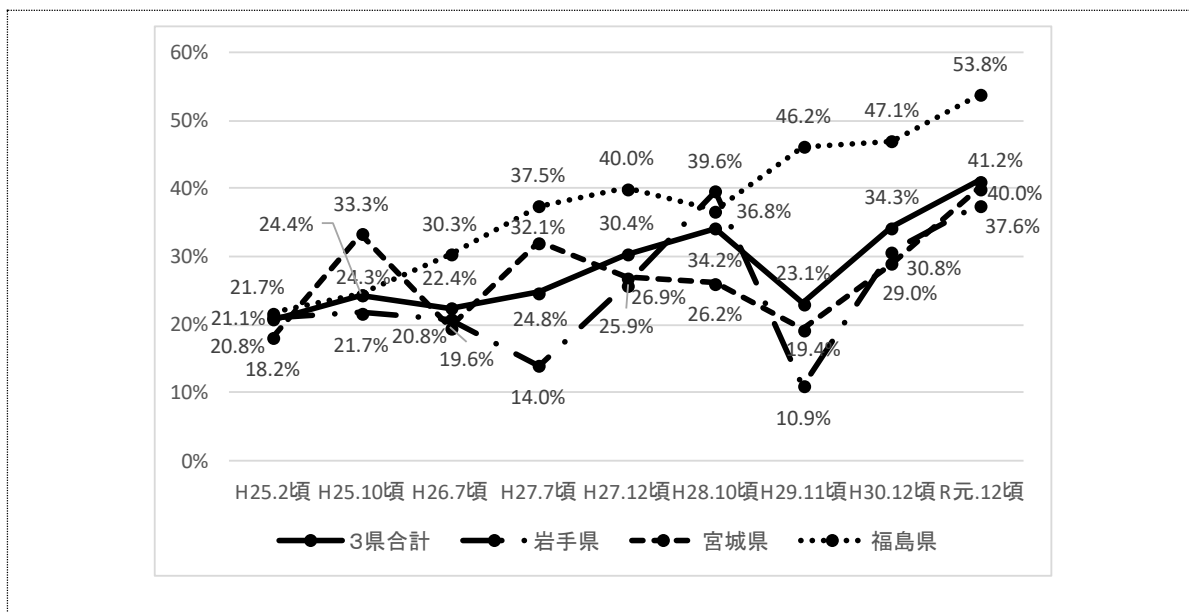
※ここでの工事単価は、元請の木造住宅新築工事(建替え含む)。  
 ※各回調査とも同じグループを対象に調査を行っているが、毎回、回収率は異なっており、上表の結果は各回調査の平均値で示している。  
 ※震災前の状況は、第1回調査における調査結果に基づく。



## (8) 地域材の活用

地域材の活用に際して「問題は特に感じていない」とする割合が約4割となっており、ここ数年の推移として「問題は特に感じていない」の比率が高くなっている。

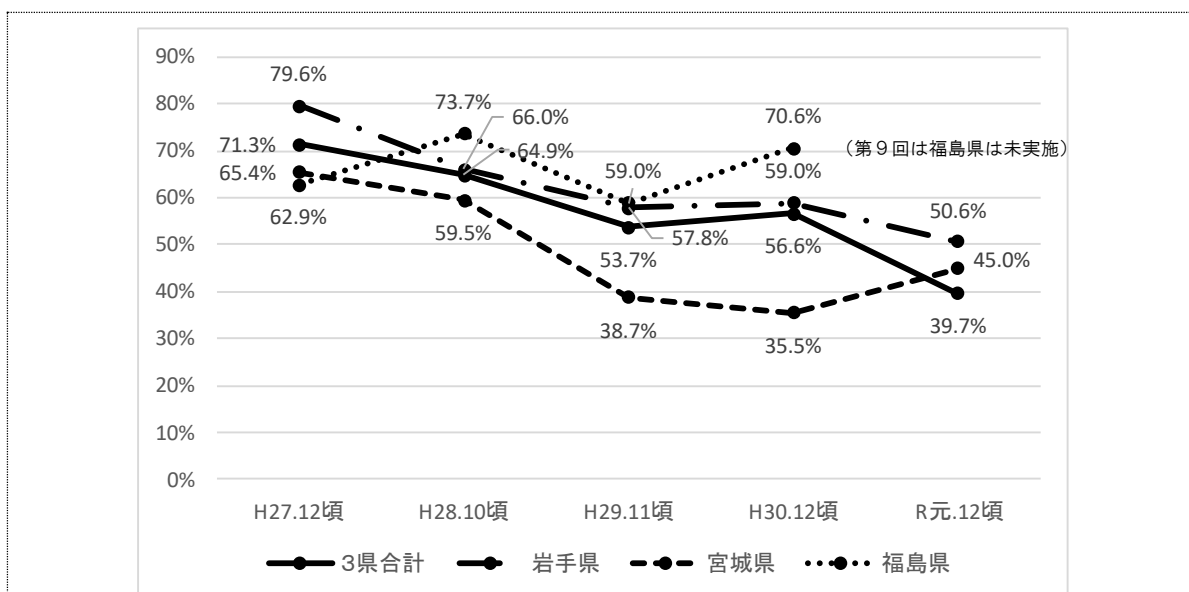
各県ともに調査開始時期に比べて倍近いポイントになっており、地域材の需要と供給が安定化しつつあることや地域材の活用に関する環境整備が進んできたことが推察される。



## (9) マッチングサポート制度の活用

職人融通支援、資材確保支援のいずれか又はともに活用したいとする合計をみると、岩手県では50.6%、宮城県では45%（福島県は未実施）と回答の約半数に活用意向がみられる。

復興需要が旺盛だった調査開始時期に比べると減少傾向にはあるが、引き続き、施工事業者への支援策として、マッチングサポート制度への期待があることが伺える。



## (10) 今後の地域住宅生産者グループの活動に向けて

被災地での復興需要の減少ならびに全国的に人口・世帯数の減少が進む中で、施工事業者は、将来的な先行きへの不安を抱えている状況がみてとれる。

これまでのような新築を中心とした住宅市場の需給構造には限界があり、施工事業者の意見として、被災した住宅の修理への関わり、リフォームやリノベーション市場への参入、非住宅分野での木造化・木質化への取組み、といった新しい分野を視野に入れたいとする要望がみられる。

地域住宅生産者グループが、グループに参加している施工事業者を支援していく方向性として、これら新しい分野への展開を後押ししていくことが一つの方法としてあげられる。

また、地域住宅生産者グループに参画しているメリットを享受できるように、1社のみでは対応が難しい後継者育成や技術力向上のための環境整備、といった取組みに力をいれていくことも考えられる。

発災からもうすぐ9年を迎え、復興需要は落ち着きつつある状況だが、これまでの住宅復興を支えてきた地域住宅生産者グループの活動を復興後も価値ある活動として継続していくことが求められる。

また、グループに参画している施工事業者が、グループに入っていることで享受しうるメリットを、復興需要だけでなく平時の業務においても得られるようにしていくことが今後の課題である。

今回の調査結果で得られたいくつかのキーワード（被災した住宅の修理、リフォームやリノベーション市場への参入、非住宅分野での木造化・木質化への取組み、グループとしての後継者育成や技術力向上に向けた環境整備）をベースに、今後の地域型復興住宅推進協議会の活動、ならびに地域住宅生産者グループ活動のあり方について、協議・検討していくことが求められる。

<参考> 被災三県の住宅復興に関する実態把握調査【第9回】 調査票

被災三県の住宅復興に関する実態把握調査【第9回】 調査票		
【概ねの状況として把握されている範囲で、ご回答いただければ結構です】		
<b>1. 貴社の属性について教えてください</b>		
① グループ名称	:	
② 貴社所在地	:	<input style="width: 80px; height: 20px;" type="text"/> 県 <input style="width: 200px; height: 20px;" type="text"/>
③ 現在の貴社の主な業務内容はどれですか。【あてはまる番号1つを右欄に記入】	:	
1. 被災した住宅の修理や改修が中心      2. 元請の新築・建替工事が中心 3. 下請の新築・建替工事が中心          4. 住宅以外の建築物の新築や修理・改修が中心		
<b>2. 元請の木造住宅新築工事(建替え含む)の受注の状況について教えてください</b>		
① 現在の主な施主(発注者)は誰ですか。【あてはまるものに○(複数可)】		
1. 津波被害を受けた被災者		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
2. 地震被害を受けた被災者(津波被害は受けていない)		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
3. 原発事故の指定区域から避難している被災者		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
4. 原発事故の指定区域が解除され、元の居住地に戻った被災者		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
5. 津波・地震被害も原発事故の影響も大きく受けていない方(被災者以外の方)		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
6. 分譲事業者(デベロッパー等)		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
7. 行政・UR		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
8. その他		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
② 現在の主な建設地はどこですか。【あてはまるものに○(複数可)】		
1. 浸水被害のなかった地域	→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>	2. 浸水被害があった地域 → <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<b>3. 元請の木造住宅新築工事(建替え含む)の実施体制等について教えてください</b>		
・ 1年を超える場合でも「月数」でご回答ください。(例: 1年3ヶ月 ⇒ 15ヶ月と回答) ・ 概ねの状況として把握されている範囲でご回答いただければ十分です。(精確な数値である必要はありません)		
① 現在の契約～着工までの期間	→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月程度	
② 現在の着工～完成・引渡までの期間	→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> ヶ月程度	
<選択肢> <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/> 1. はい <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/> 2. いいえ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/> 3. どちらでもない		
③ 貴社の受注対応力には、余裕がありますか。	:	
④ 貴社では、他の市町村・県から、大工・職人等の応援は呼んでいますか。	:	
⑤ 貴社では、大工・職人等の宿泊施設は足りていますか。	:	
⑥ 人材不足は、どの工事段階で見られますか。【あてはまるものに○(複数可)】		
1. 仮設工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
2. 基礎工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
3. 木工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
4. 屋根・板金工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
5. 建具工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
6. 外装工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
7. 左官・タイル工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
8. 塗装工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
9. 内装工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
10. 雑工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
11. 電気設備工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
12. 給排水衛生工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
13. 冷暖房設備工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
14. その他の工事		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
15. 人材不足はない		→ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>

- ⑦ 不足している建材・資材等はどれですか。【あてはまるものに○(複数可)】
- |                        |   |                          |           |   |                          |                   |   |                          |
|------------------------|---|--------------------------|-----------|---|--------------------------|-------------------|---|--------------------------|
| 1. コンクリート<br>(砂利・生コン等) | → | <input type="checkbox"/> | 2. 木材     | → | <input type="checkbox"/> | 3. 外装材・<br>内装材    | → | <input type="checkbox"/> |
| 4. 住設機器                | → | <input type="checkbox"/> | 5. その他の資材 | → | <input type="checkbox"/> | 6. 建材・資材<br>不足はない | → | <input type="checkbox"/> |
- ⑧ グループ内の工務店等において、建材・資材の共同購入・仕入れをする  
予定や意向はありますか 【あてはまる番号1つを右欄に記入】 :
- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. すでに取組んでいる   | 2. 取組み準備中 または 今後取組む予定 |
| 3. 予定はないが取組みたい | 4. 取組む予定・意向ともない       |
- ⑨ 貴社では、現在何ヶ月先までの新築工事契約が決まっていますか。 → ヶ月程度  
(新たな工事契約が決まっている場合は「0」とご回答ください。)
- ⑩ 現在、懸念していることはどのようなことですか。【あてはまるものに○(複数可)】
- |                                      |   |                          |   |   |                          |
|--------------------------------------|---|--------------------------|---|---|--------------------------|
| 1. 資材・人材不足等による <u>工事の遅れ、工期の不透明さ</u>  | → | <input type="checkbox"/> | 2. 熟練した大工・職人の不足等による <u>施工精度やスピードの低下</u> | → | <input type="checkbox"/> |
| 3. 契約金額を超えるような <u>建設費の高騰</u>         | → | <input type="checkbox"/> | 4. 需要の減少による <u>受注量の低下</u>               | → | <input type="checkbox"/> |
| 5. 造成の遅れ等による <u>今後の受注・着工見通しの不透明さ</u> | → | <input type="checkbox"/> | 6. その他                                  | → | <input type="checkbox"/> |
| 7. 問題は特に感じていない                       | → | <input type="checkbox"/> | 8. わからない                                | → | <input type="checkbox"/> |

4. 元請の木造住宅新築工事のコストの状況について教えてください

- ・ 工事単価は、貴社で手掛ける一般的な新築住宅(震災前後で同じもの)についてご回答ください。
- ・ 概ねの状況として把握されている範囲でご回答いただければ十分です。(精緻な数値である必要はありません)

① 現在の工事単価(請負金額) : 万円/坪  
(千円以下四捨五入)

5. 地域材(自県産材)の活用の問題点について教えてください

- ① 地域材(自県産材)活用の問題点 【あてはまるものに○(複数可)】
- |                  |   |                          |                   |   |                          |
|------------------|---|--------------------------|-------------------|---|--------------------------|
| 1. 価格が高い         | → | <input type="checkbox"/> | 2. 自県産材が不足し、調達が困難 | → | <input type="checkbox"/> |
| 3. 自県産材は品質に不安がある | → | <input type="checkbox"/> | 4. 調達ルートがよく分からない  | → | <input type="checkbox"/> |
| 5. 需要が少ない        | → | <input type="checkbox"/> | 6. その他            | → | <input type="checkbox"/> |
| 7. 問題は特に感じていない   | → | <input type="checkbox"/> | 8. わからない          | → | <input type="checkbox"/> |

6. マッチングサポート制度について教えてください

① 「職人融通支援」や「資材確保支援」について、活用する意向はありますか。 【あてはまる番号1つを右欄に記入】 :

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 「職人融通支援」「資材確保支援」ともに活用したい | 2. 「職人融通支援」のみ活用したい |
| 3. 「資材確保支援」のみ活用したい          | 4. どちらも活用しない       |

② ①で、「4. どちらも活用しない」を回答した場合は、理由をお書きください。

7. 復興が徐々に進む中で地域住宅生産者グループに期待する取組みについて教えてください

【あてはまるものに○(複数可)】

- |                                      |   |                          |
|--------------------------------------|---|--------------------------|
| 1. 地域型復興住宅等の点検・維持管理・リフォームへの取組み       | → | <input type="checkbox"/> |
| 2. 非住宅における木造化・木質化への取組み               | → | <input type="checkbox"/> |
| 3. 被災地への技術支援(応急修理や仮設住宅建設における現地協力・派遣) | → | <input type="checkbox"/> |
| 4. その他(具体的に記入してください)                 | → | <input type="checkbox"/> |

8. 住宅復興ならびに復興後を見据えての問題点や課題、必要な支援等を自由にお書きください

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。